

平成30年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について

- 平成30年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について（概要）
- 平成30年度保護者アンケートの結果
- 平成30年度児童・生徒アンケートの結果

平成30年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について（概要）

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象】

（保護者アンケート）

区立学校に通う全児童・生徒の保護者

（児童・生徒アンケート）

区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査内容】

（保護者アンケート）

[A] 家庭の教育方針と生活・学習について

[B] 品川区の学校選択制について

[C] 学校と地域との連携・協働について

[D] 品川区の教育施策について

（児童・生徒アンケート）

[A] 学校や家での様子について

[B] 英語の学習について

[C] オリンピック・パラリンピックについて

[D] 品川区の学校選択制について

【調査期間】

平成31年1月23日から2月1日まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率】

（保護者アンケート）

配布数：20,300

回答数：18,602（内有効数：18,506）

回答率：91.2%

（児童・生徒アンケート）

配布数：17,950

回答数：16,794（内有効数：16,541）

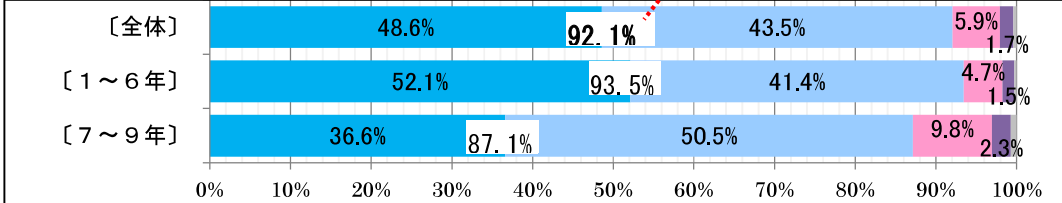
回答率：92.2%

保護者アンケート

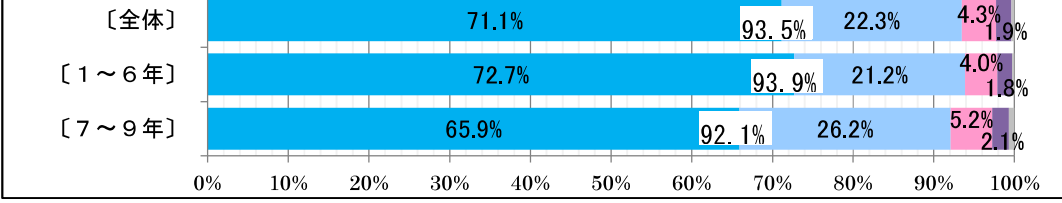
D 品川区の教育施策について

[25] 現在通っている学校に満足している。

保護者による学校満足度
92.1%



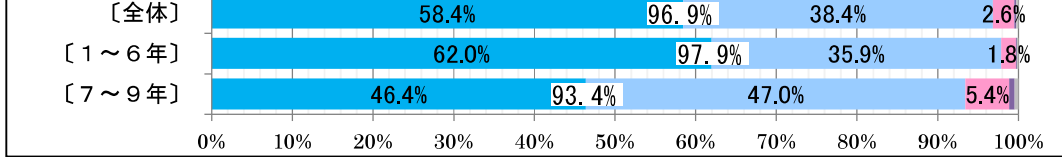
[23] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



保護者による学校満足度は、平成29年度に引き続き、全体では9割以上が肯定的な回答をしている。また、「1年生からの英語学習は良いことだと思う」については、いずれの学年でも9割以上が肯定的な回答をしている。

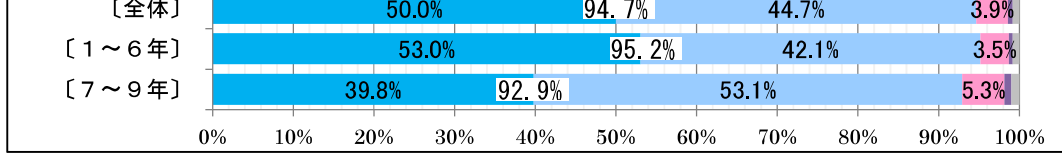
A 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について

[1] 基本的な生活習慣を身に付けるようにしている。



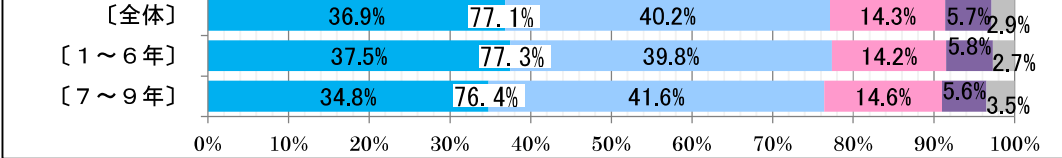
C 学校と地域との連携・協働について

[17] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



B 品川区の学校選択制について

[16] 学校選択は良い制度だと思う。

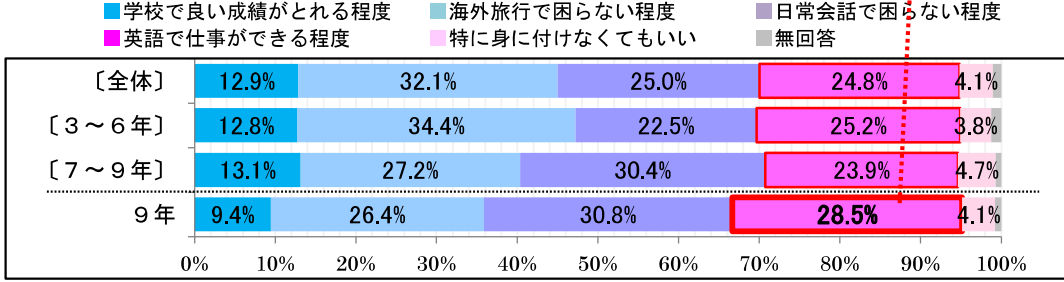


児童・生徒アンケート

B 英語の学習について

[18] あなたは将来、どのくらいの英語力を身に付けたいですか。（3～9年）

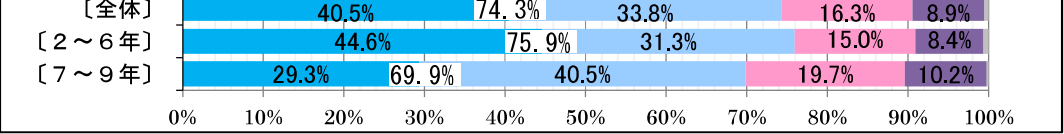
9年生は、「英語で仕事ができる程度」の英語力を身に付けたいという意識が高い。



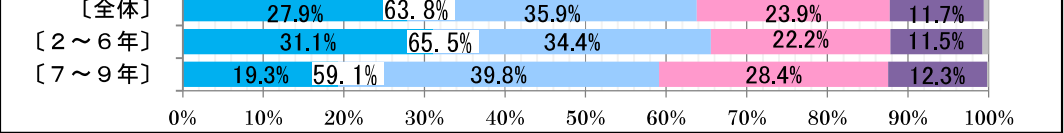
全体では、「海外旅行で困らない程度」が最も多い。また、「英語で仕事ができる程度」への回答率については、7～9年で23.9%だが、9年生だけで見ると28.5%となっており、他学年に比べて最も高い。

C オリンピック・パラリンピックについて

[19] オリンピックに興味がありますか。

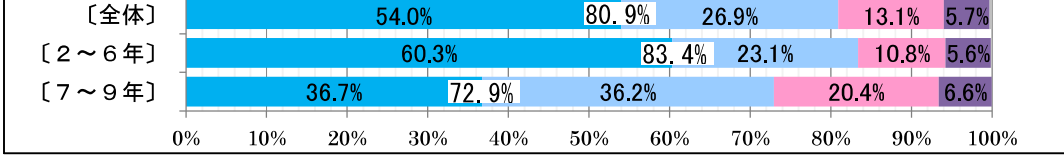


[20] パラリンピックに興味がありますか。



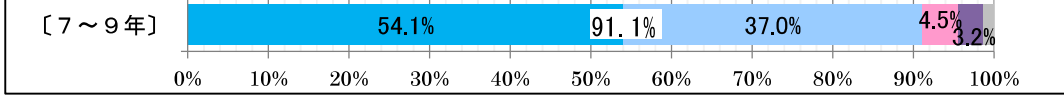
A 学校や家での様子について

[9] 将来なりたい仕事ややりたいことがある。（2年）
将来なりたい職業ややりたいことがある、そのために努力していることがある。（3・4年）
将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している。（5～9年）



D 品川区の学校選択制について

[23] 学校選択制は良い制度だと思う。（7～9年）



グラフの凡例：特別の指定がないものは全て ■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答 である。

平成30年度保護者アンケートの結果

平成30年度保護者アンケートの概要

【目 的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

平成31年1月23日（水）から平成31年2月1日（金）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

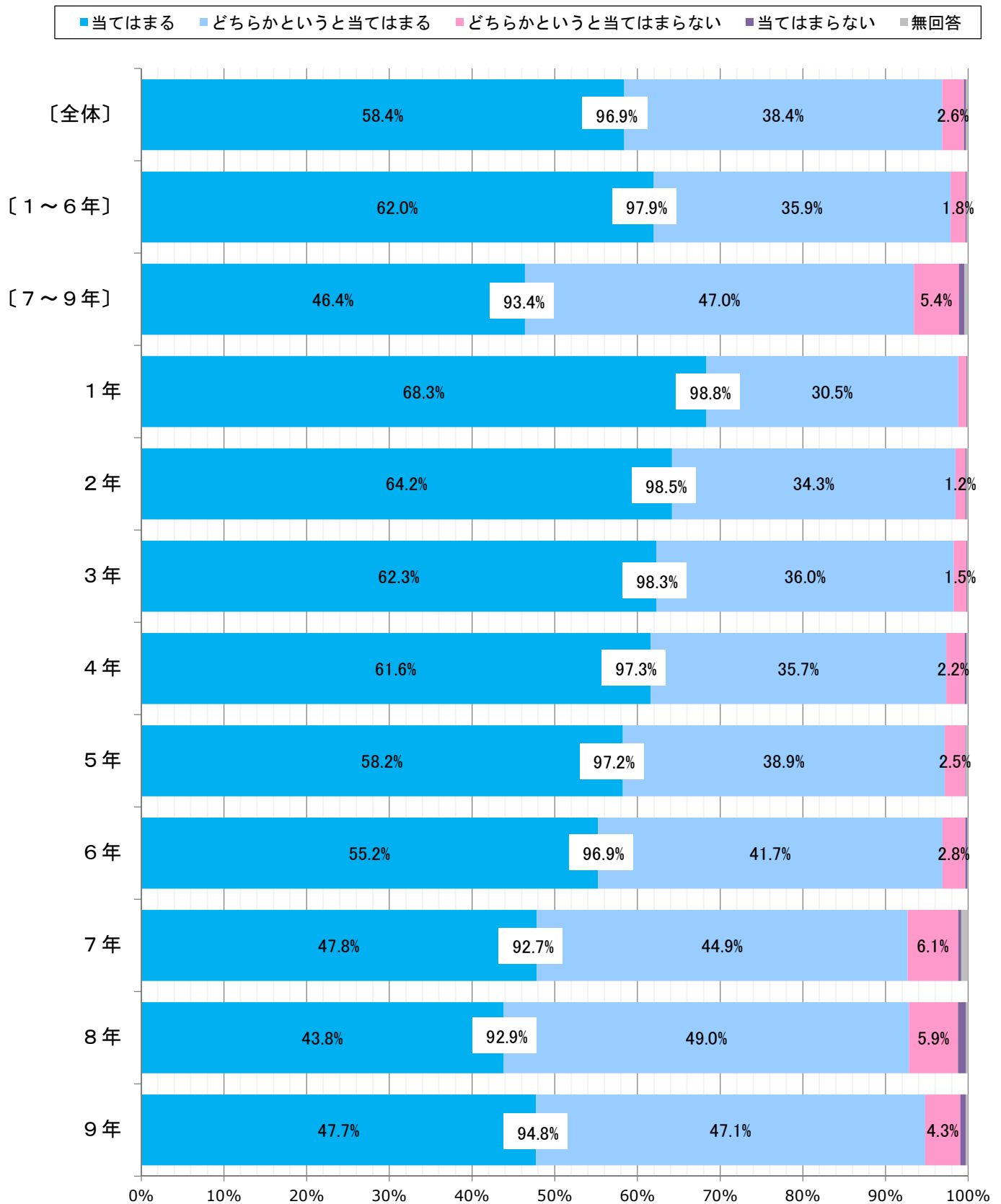
配布数 20,300 回答数 18,602（内、有効回答数 18,506） 回答率 91.2%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. 表中の「義務教育学校」とは、「日野学園」「伊藤学園」「八潮学園」「荏原平塚学園」「品川学園」「豊葉の杜学園」の6校の合計である。
4. 表中の「小学校」「中学校」とは、それぞれ、前項の義務教育学校6校を除く小学校31校、中学校9校の合計である。
5. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

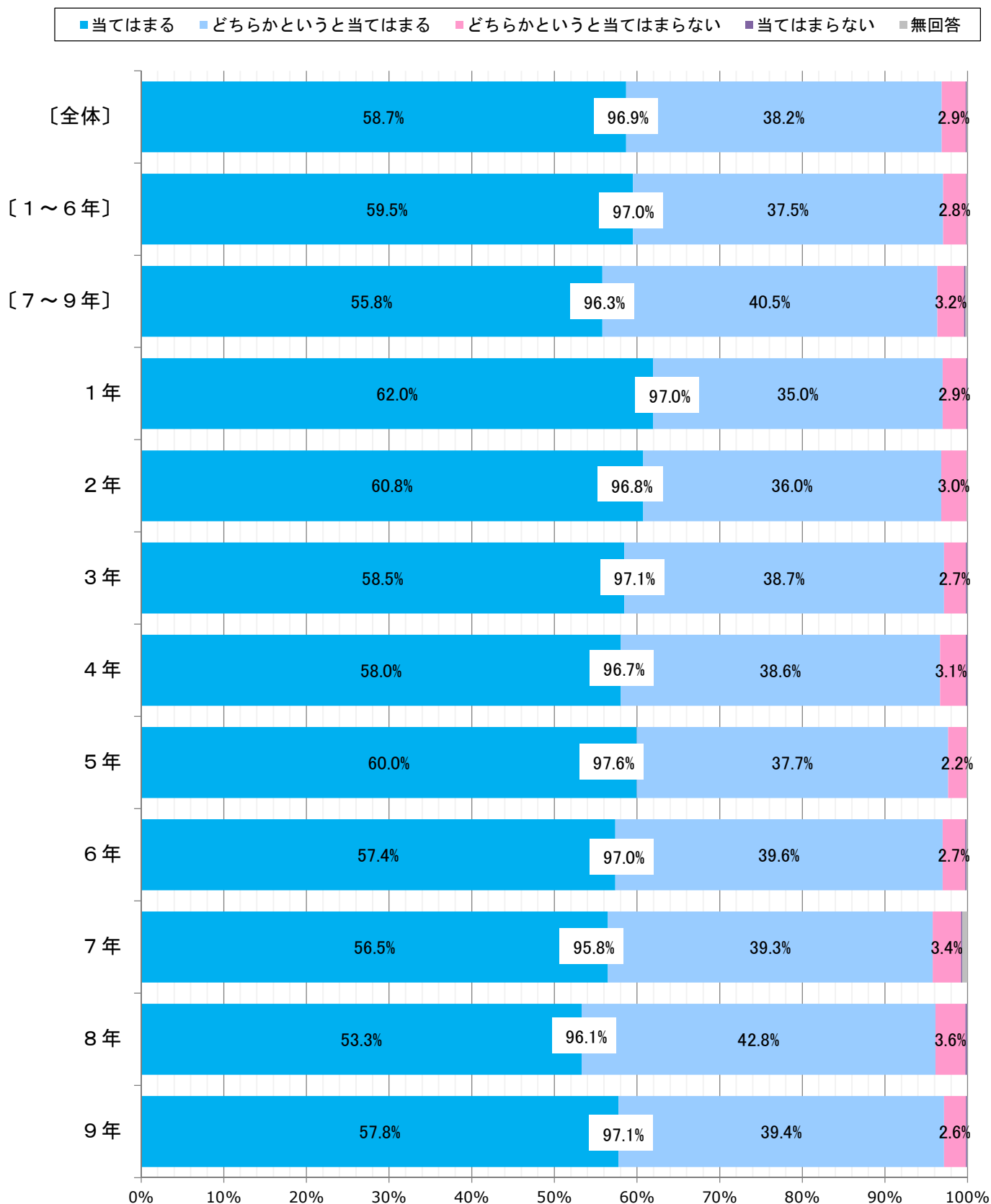
[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

[1] 基本的な生活習慣を身に付けるようにしている。



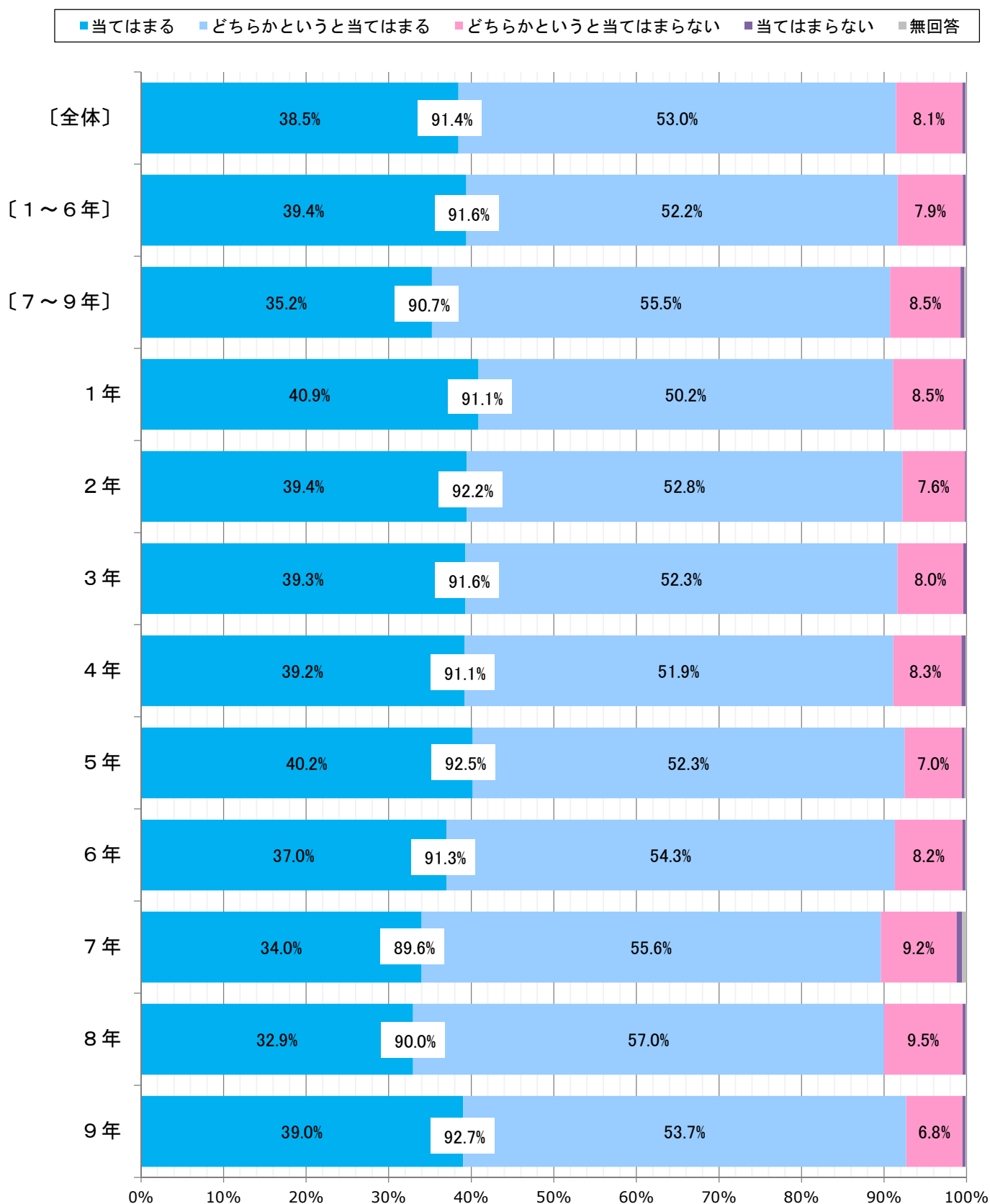
基本的な生活習慣を身に付けるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。1～6年は97.9%、7～9年は93.4%である。
1～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなる傾向があり、9年でやや上昇

[2] 挨拶がしっかりできているようにしている。



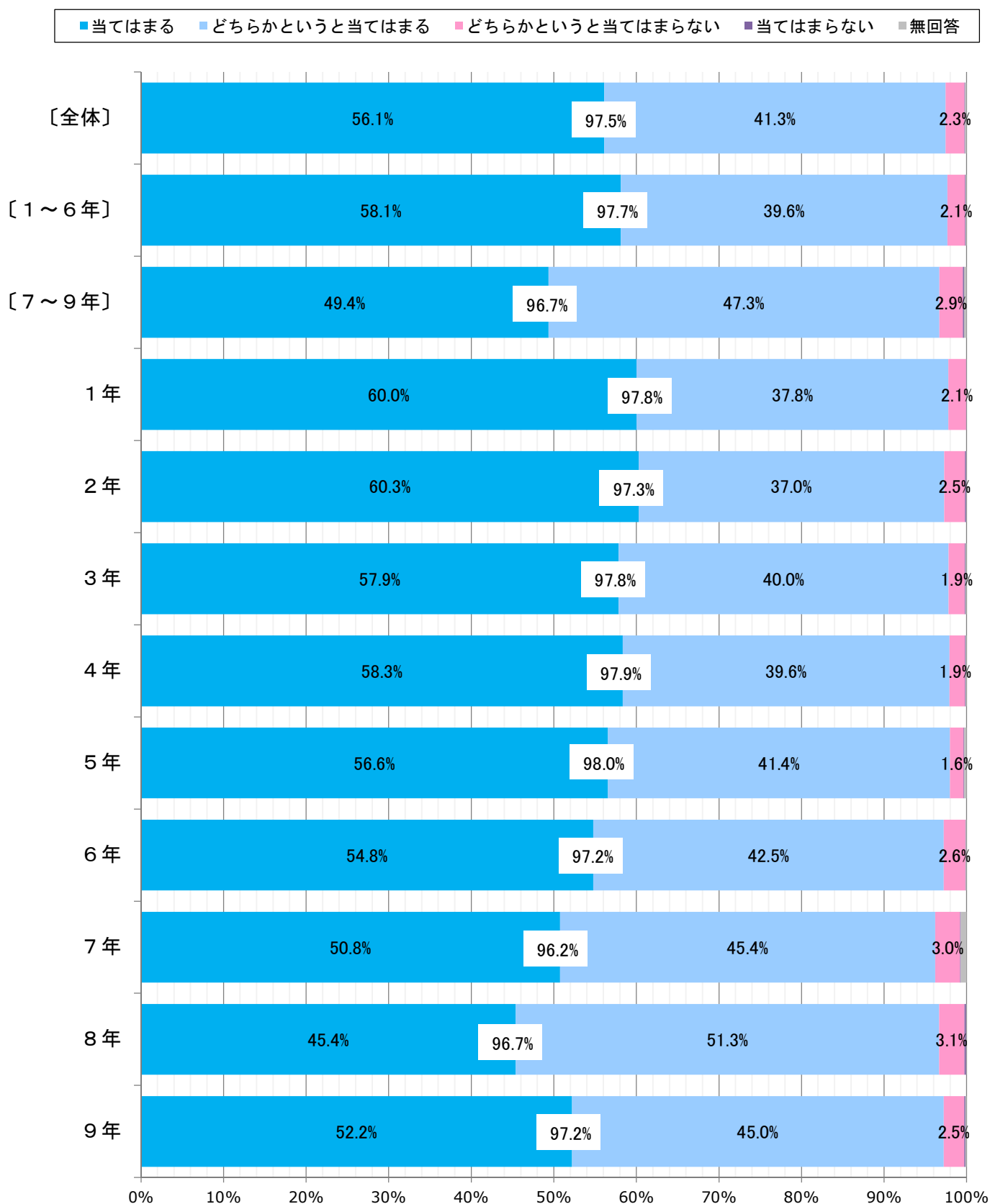
挨拶がしっかりできているようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。
 1～6年は97.0%、7～9年は96.3%である。
 全学年で95%を超える高い割合となっており、学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

[3] 丁寧な言葉づかいができるようにしている。



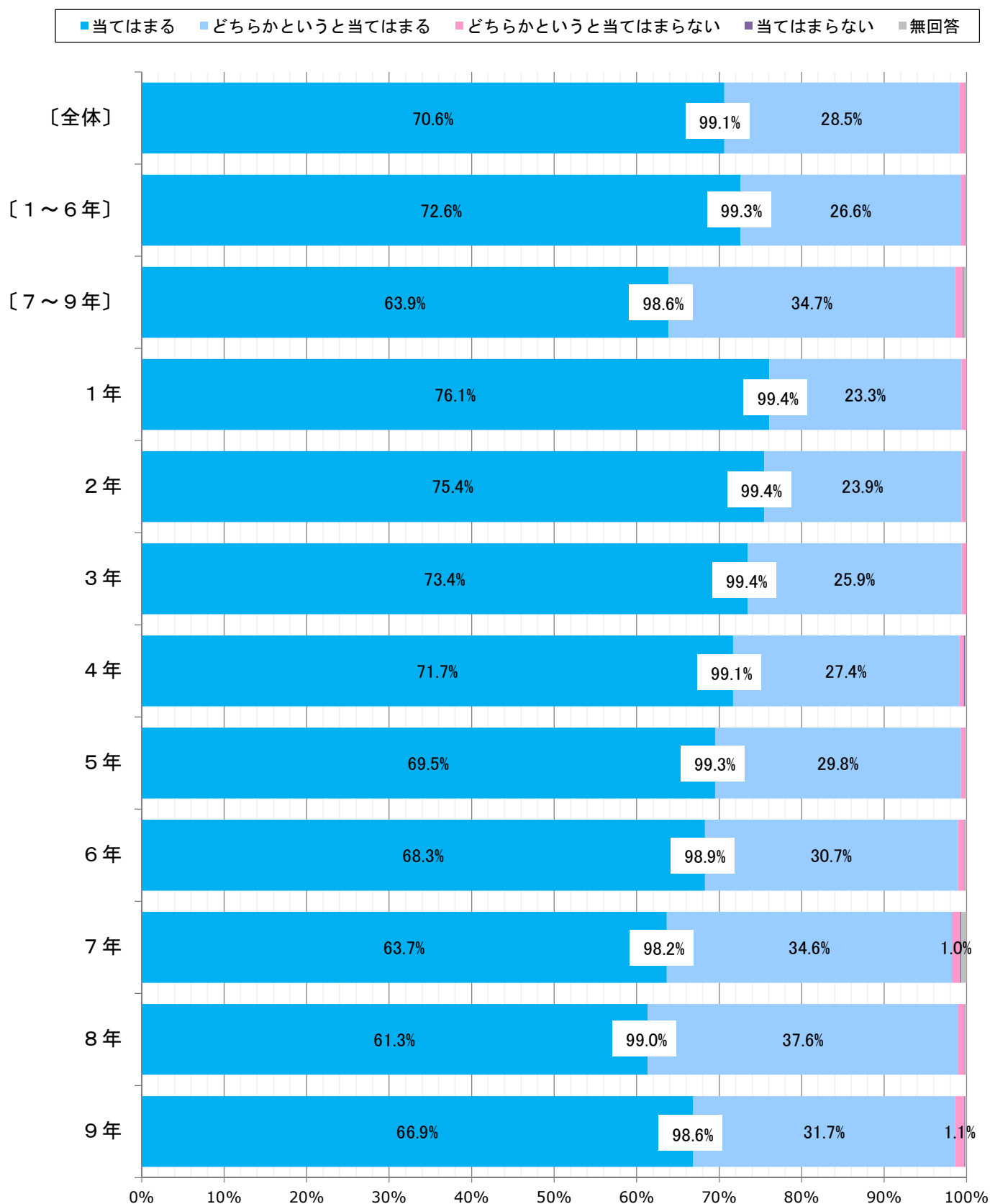
丁寧な言葉づかいができるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は91.6%、7～9年は90.7%である。
7～8年では「当てはまる」は他の学年よりやや低いものの、学年による大きな差や特徴的な傾向は見られなかった。

〔4〕 他者を尊重することの大切さを教えている。



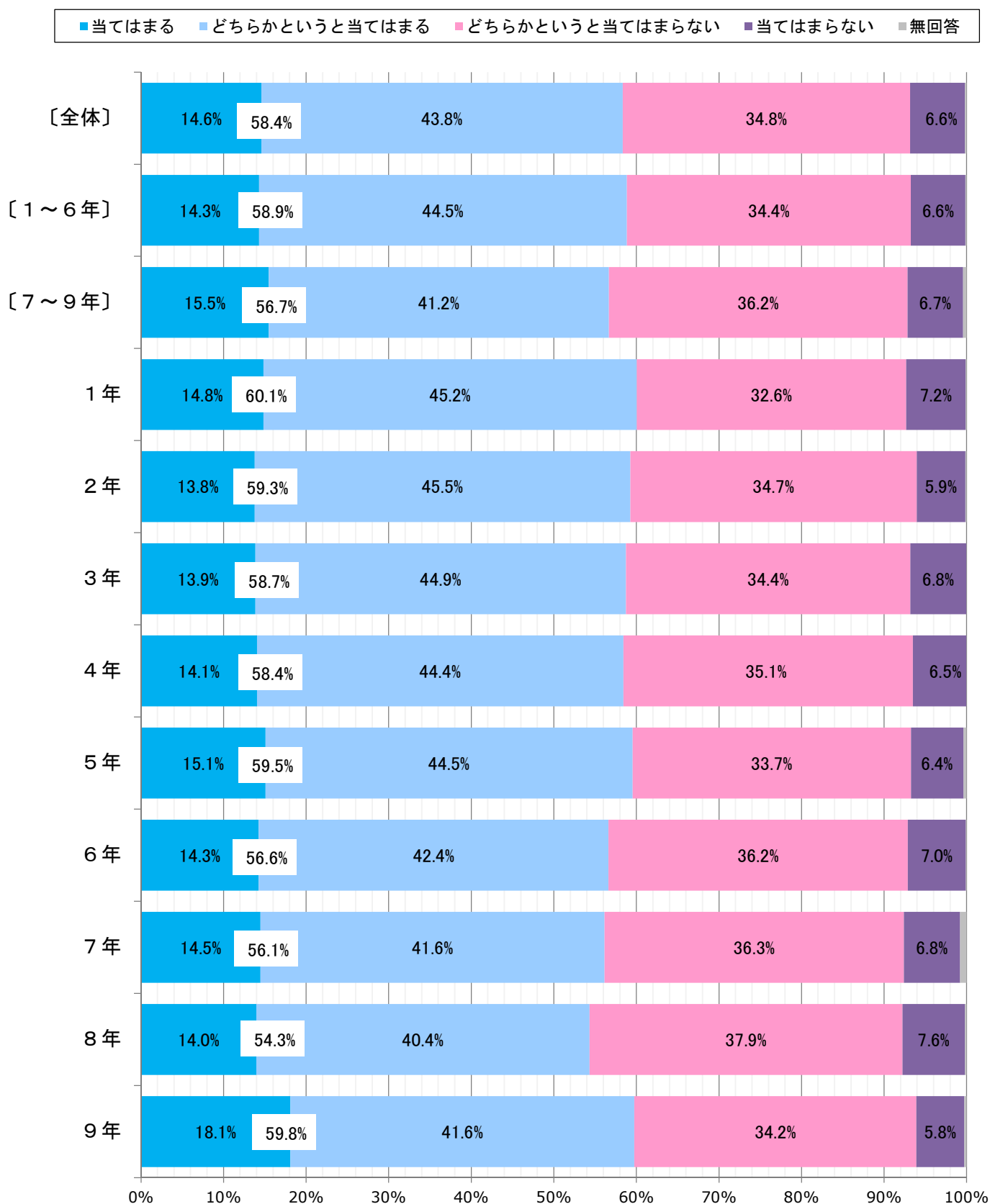
他者を尊重することの大切さを教えているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。1～6年は97.8%、7～9年は96.7%であり、全学年で95%を超える。
1～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとにやや低くなる傾向があり、8年では5割を切って、9年で52.2%に上昇する。

[5] 学校や公共のルール・マナーを守るようにしている。



学校や公共のルール・マナーを守るようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で99.1%と全数に限りなく近い。1～6年は99.3%、7～9年は98.6%であり、全学年で98%を超える。1～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとにやや低くなる傾向があり、9年で上昇する。

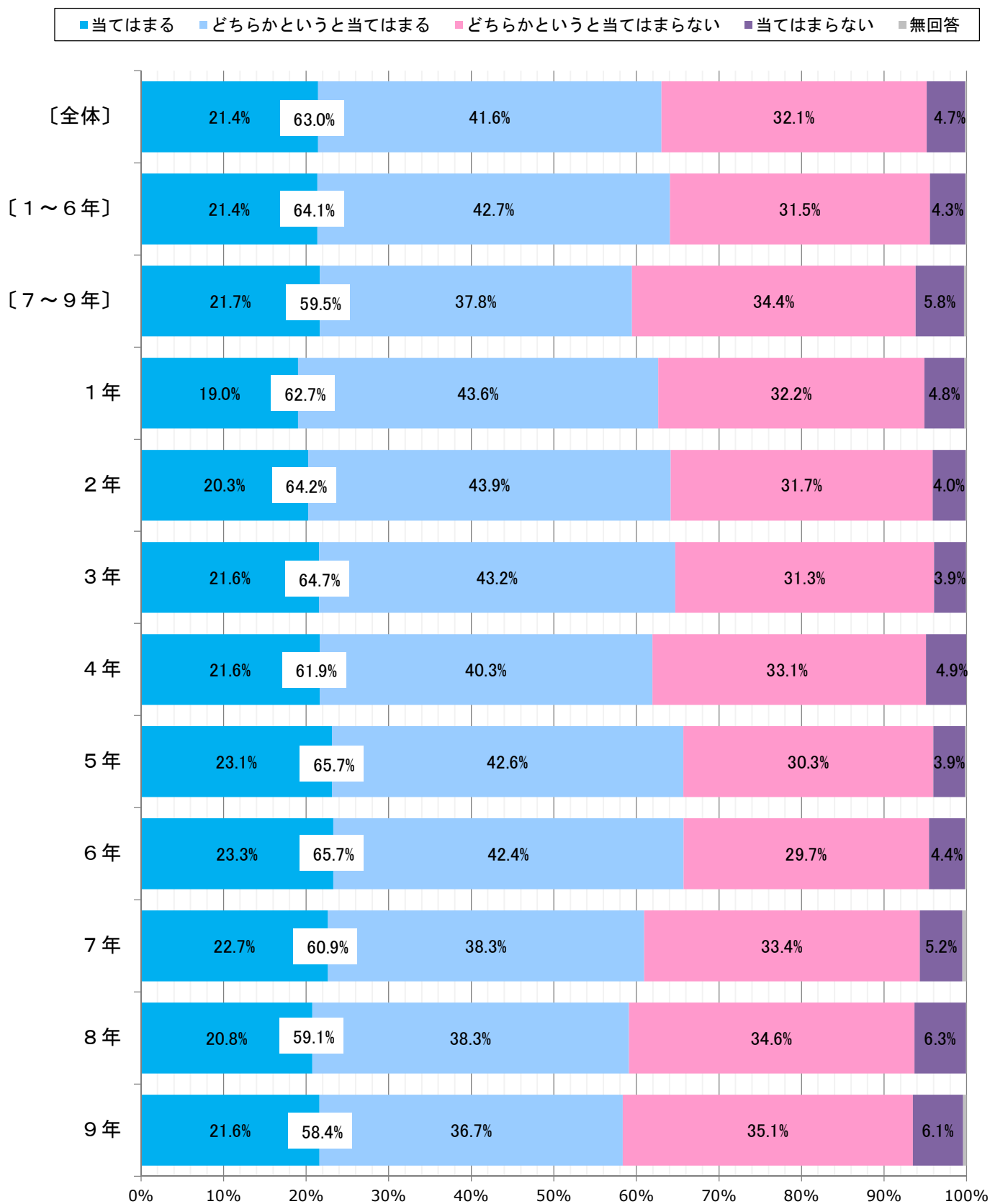
[6] 地域行事やボランティア活動に参加するようにしている。



地域行事やボランティア活動に参加するようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で55%を超えている。1～6年は58.9%、7～9年は56.7%である。

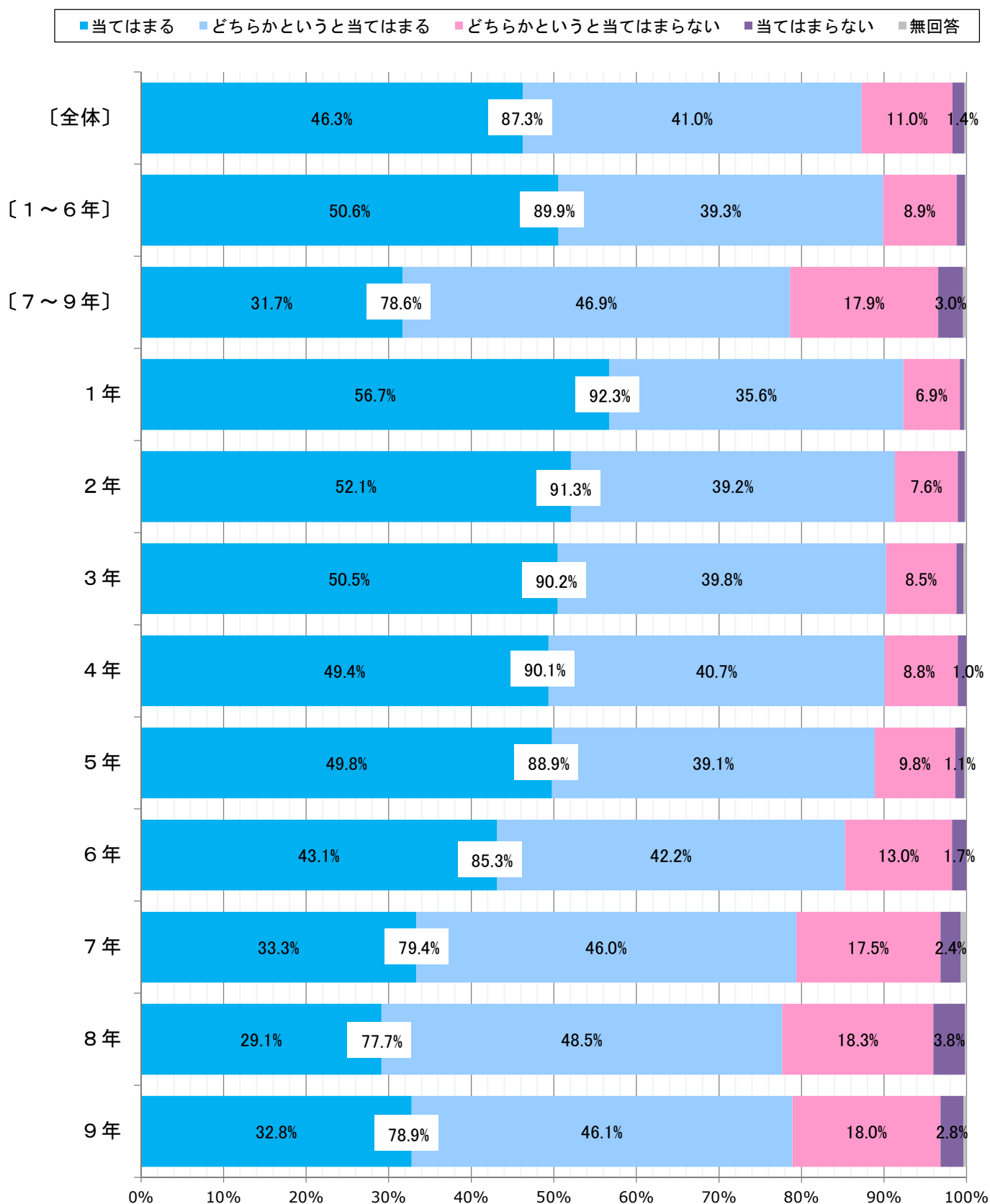
「当てはまる」は9年が18.1%で他の学年よりも高い。

[7] 子どもに家事を分担している。



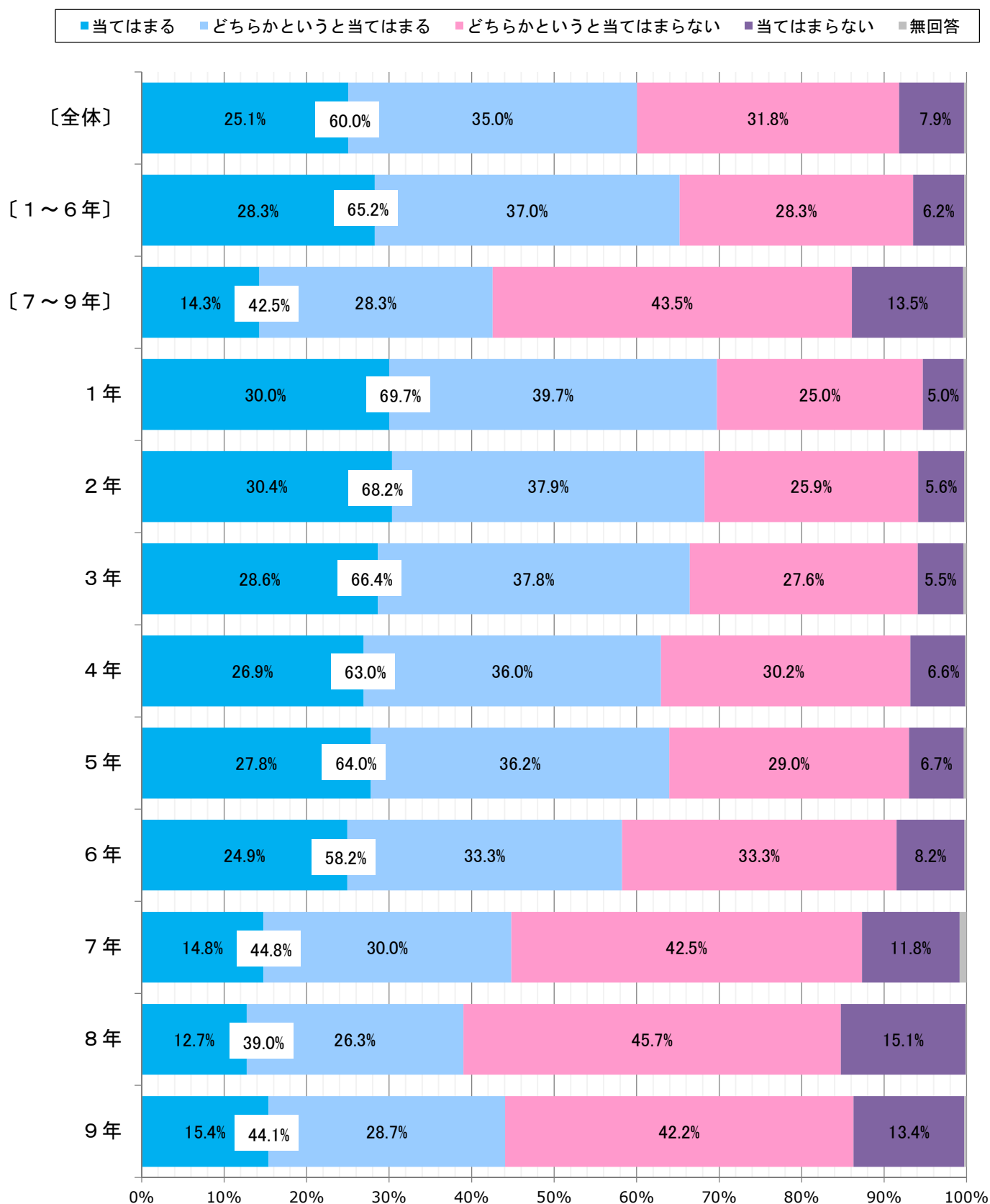
子どもに家事を分担しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で60%を超える。1～6年は64.1%、7～9年は59.5%である。
学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

[8] 家庭学習の習慣を身に付けるようにしている。



家庭学習の習慣を身に付けるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で85%を超える。1～6年は89.9%、7～9年は78.6%である。
「当てはまる」の割合は、1～6年の50.6%に比べ、7～9年が31.7%と低く、特に8年では3割を切っている。

〔9〕 家庭での読書習慣を身に付けるようにしている。

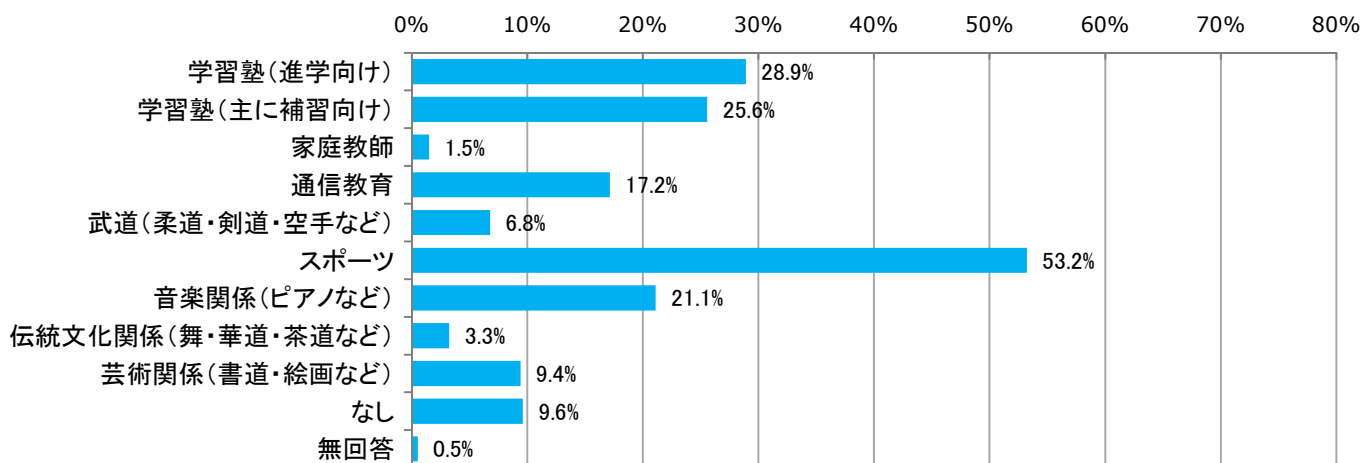


家庭での読書習慣を身に付けるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で60%である。1～6年は65.2%、7～9年は42.5%である。

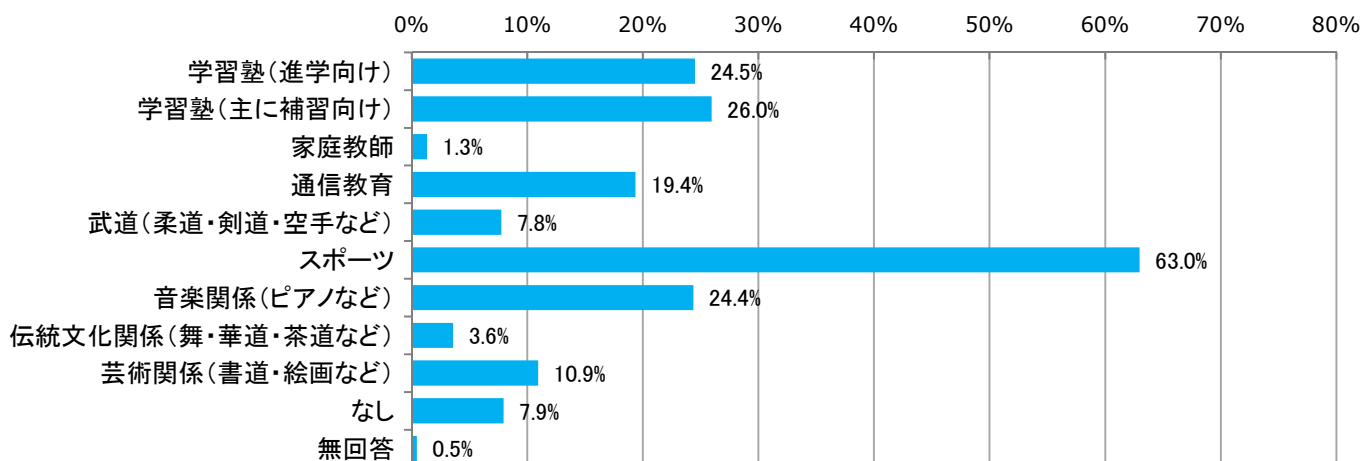
「当てはまる」の割合は、1～6年の28.3%に比べ、7～9年が14.3%と低い。

〔10〕 どのような塾や習い事をしていますか。現在行っているものをすべて選んでください。

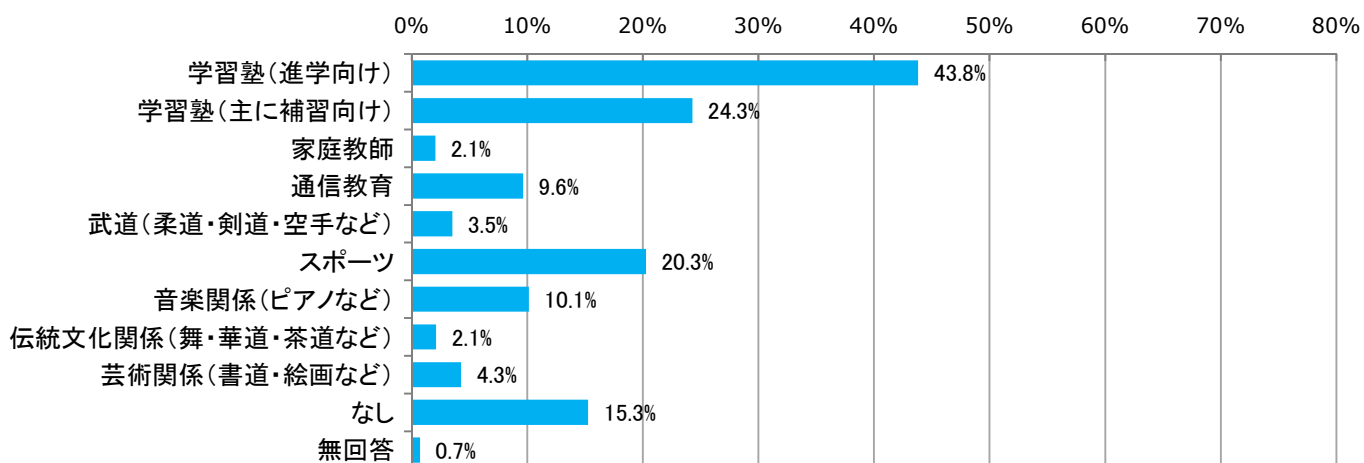
〔全体〕



〔1～6年〕

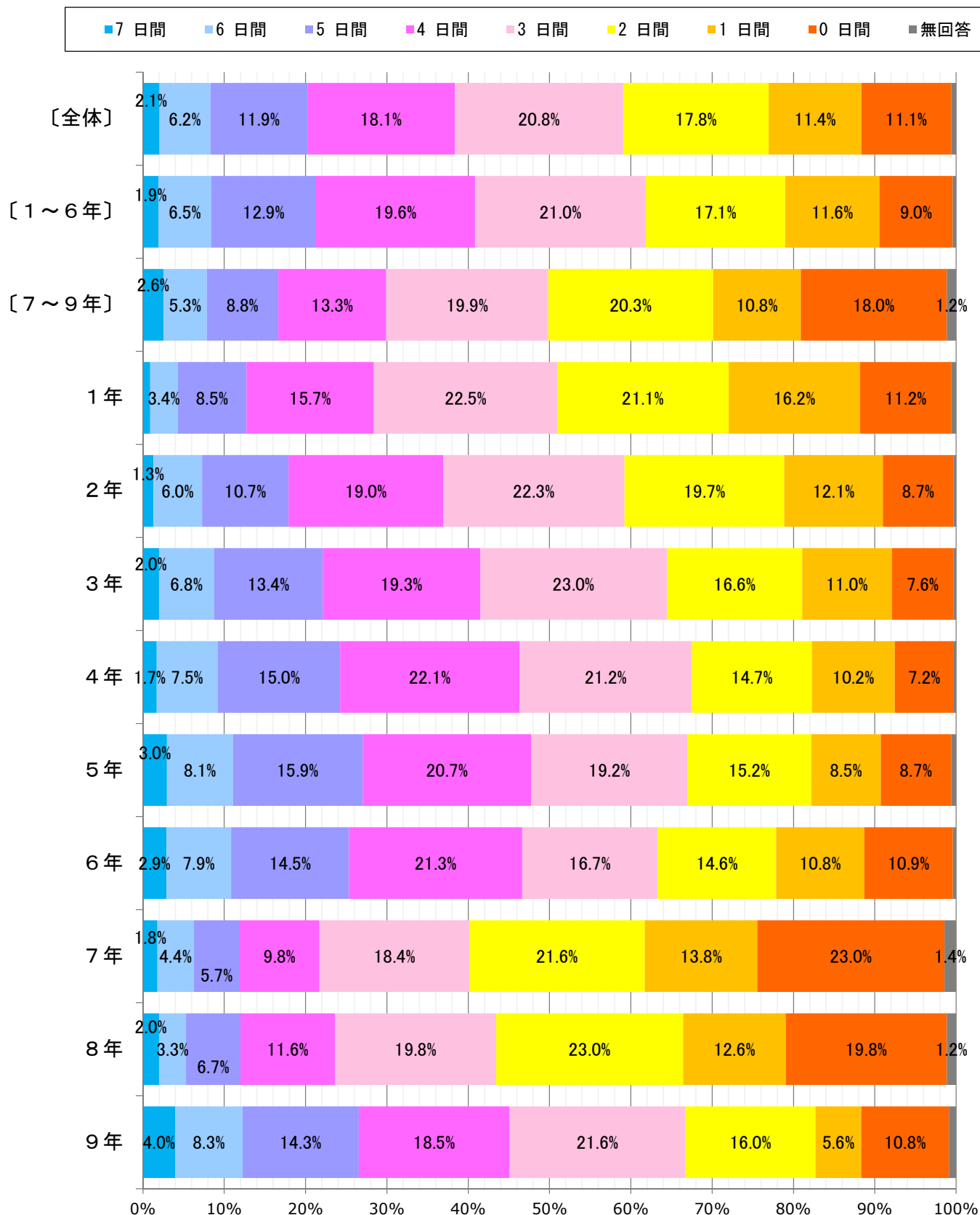


〔7～9年〕



「学習塾（進学向け）」に通っている子どもの割合は、1～6年では24.5%、7～9年では43.8%である。「学習塾（主に補習向け）」に通っている子どもの割合は、全体で25%を超える。「スポーツ」をしている子どもの割合は、1～6年では63.0%、7～9年では20.3%である。また、塾や習い事をしていない子どもの割合は、1～6年では7.9%、7～9年では15.3%である。

〔11〕 1週間のうち、塾や習い事に何日間行っていますか。



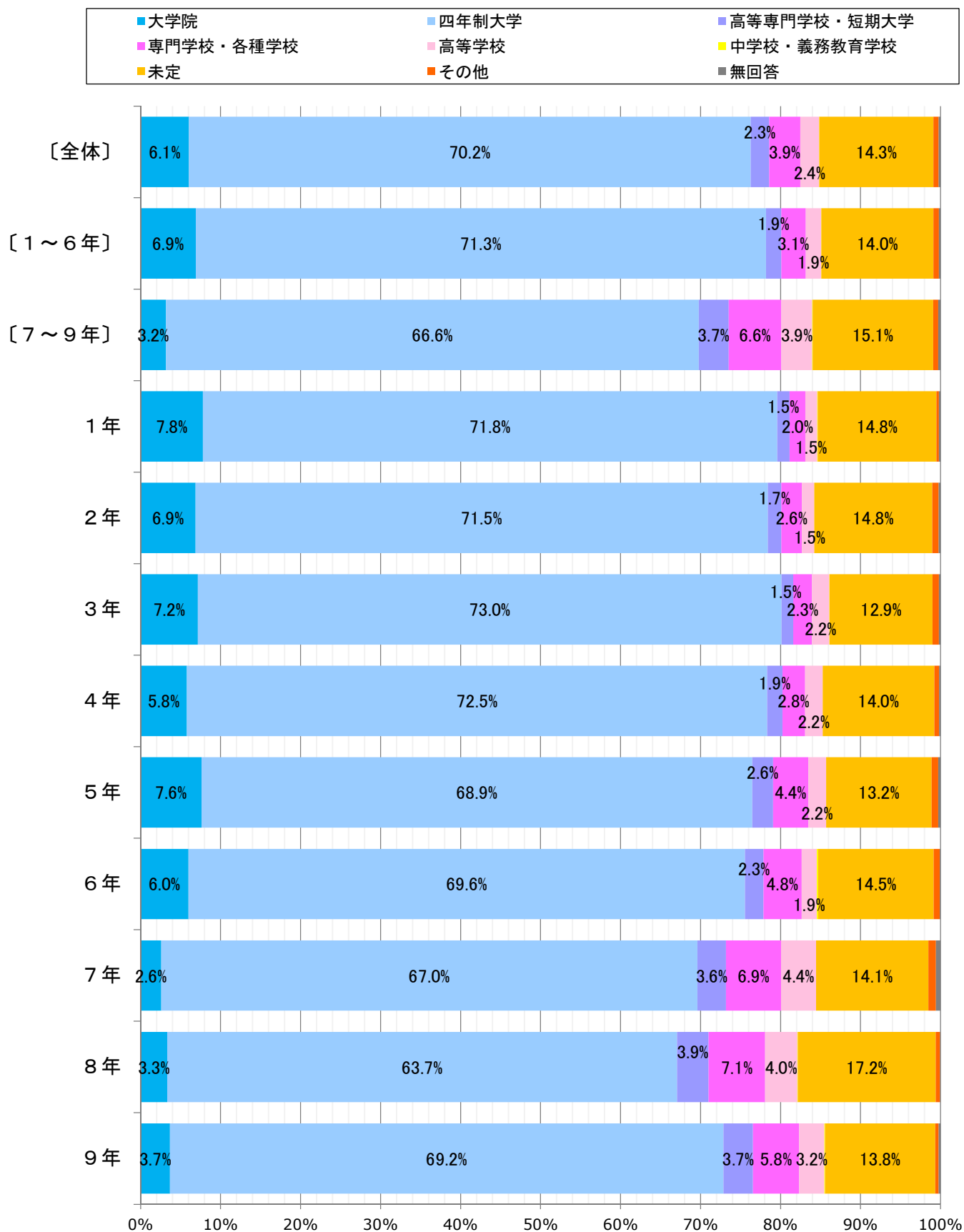
1週間のうち、塾や習い事に行っている日がある子どもの割合は、次のとおりである。

全体 88.3% 1～6年 90.4% 7～9年 80.9%

【学年別】 1年 88.2% 2年 91.0% 3年 92.1% 4年 92.5% 5年 90.7%
 6年 88.7% 7年 75.6% 8年 79.0% 9年 88.3%

塾や習い事に行っている子どもの割合が、1～6年では9割なのに比べ、7～9年では8割で低い。また、1～6年では、「3日」が21.0%で最も高いのに対し、7～9年では、「2日」が20.3%で最も高

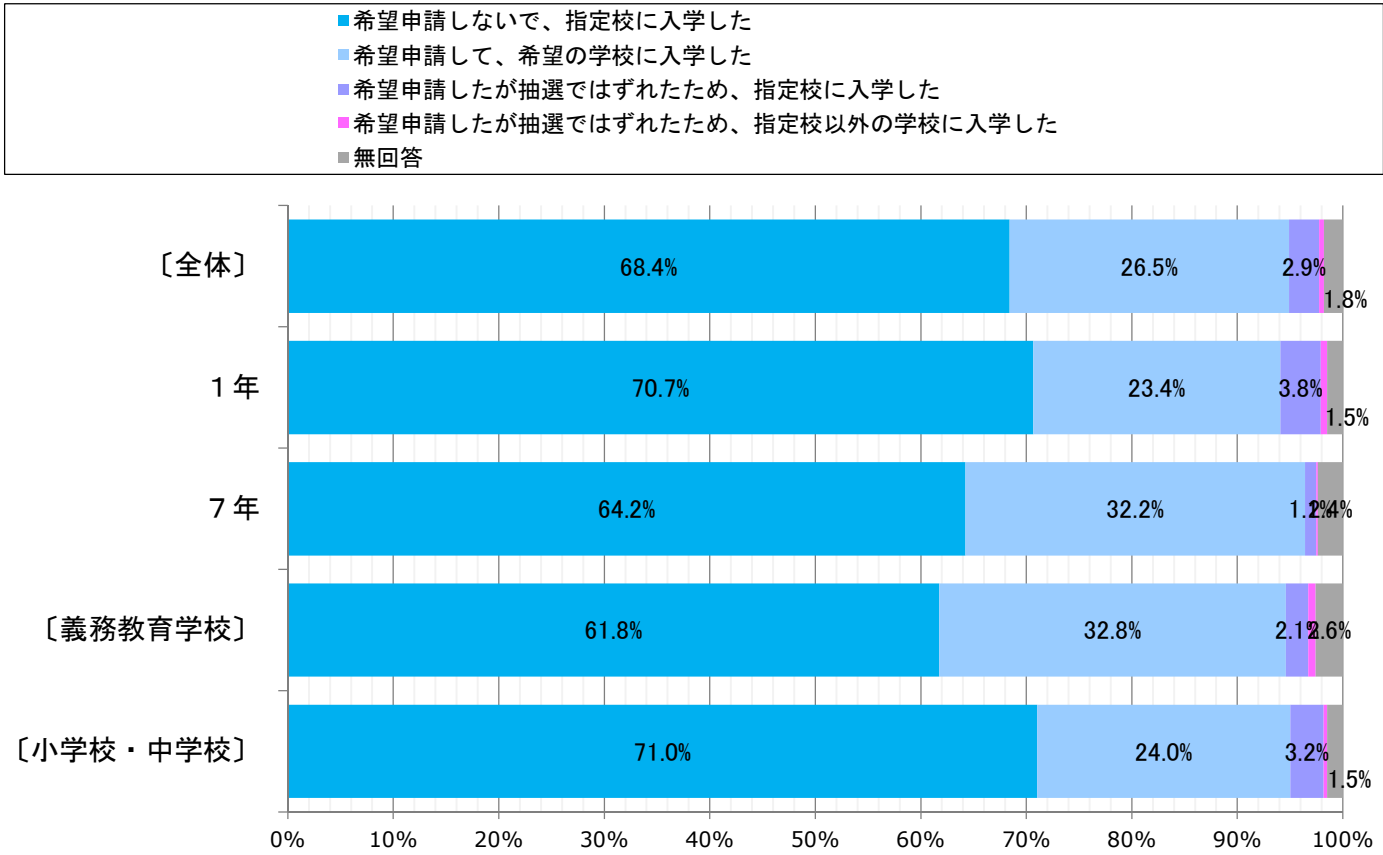
[12] 将来どの学校まで進学するように考えていますか。



全ての学年で、「四年制大学」まで進学させたいと考えている保護者が60%以上と最も高く、1～6年では78.2%、7～9年では79.8%の保護者が、「四年制大学」以上まで進学させたいと考えている。

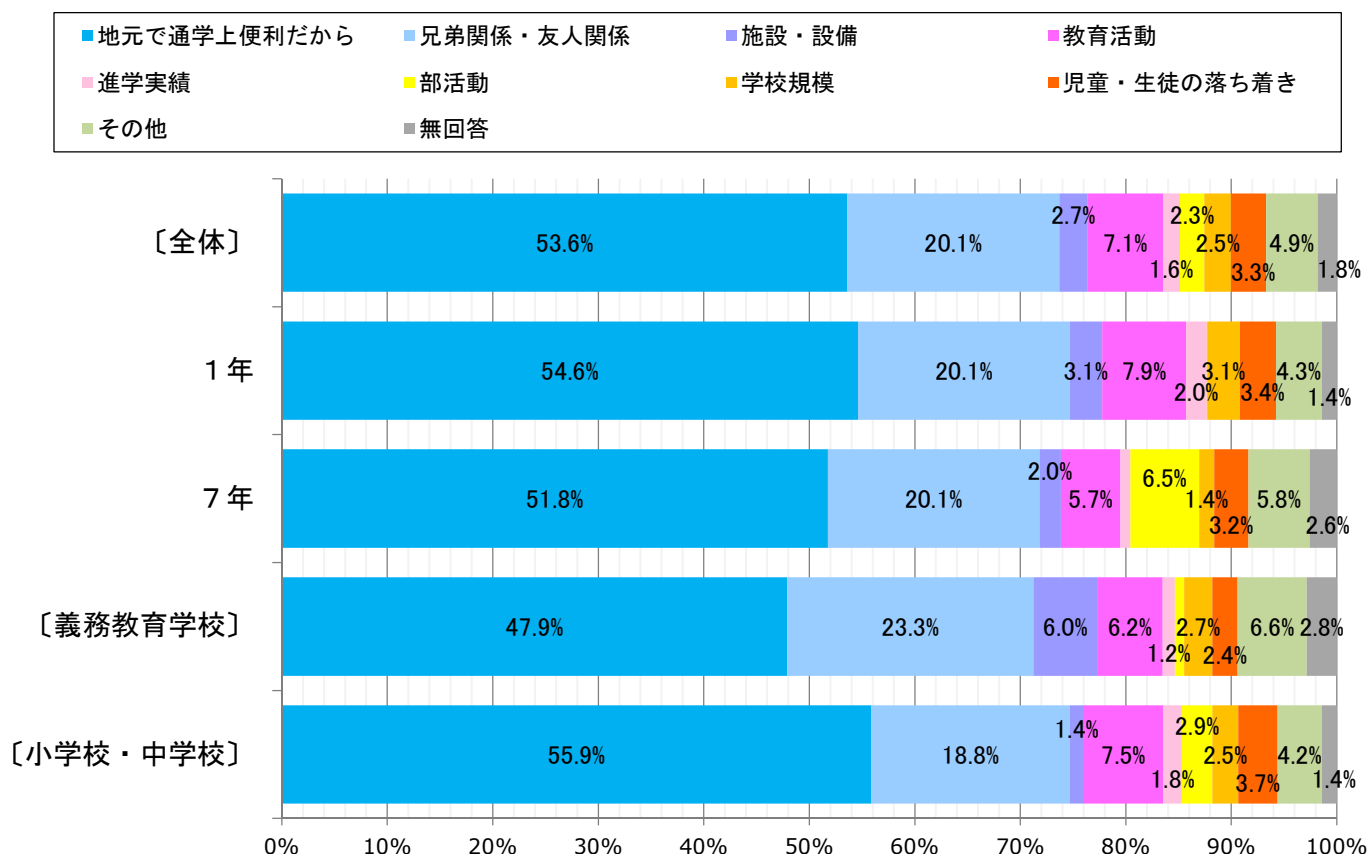
[B. 品川区の学校選択制について]

[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。
(1、7年のみ)



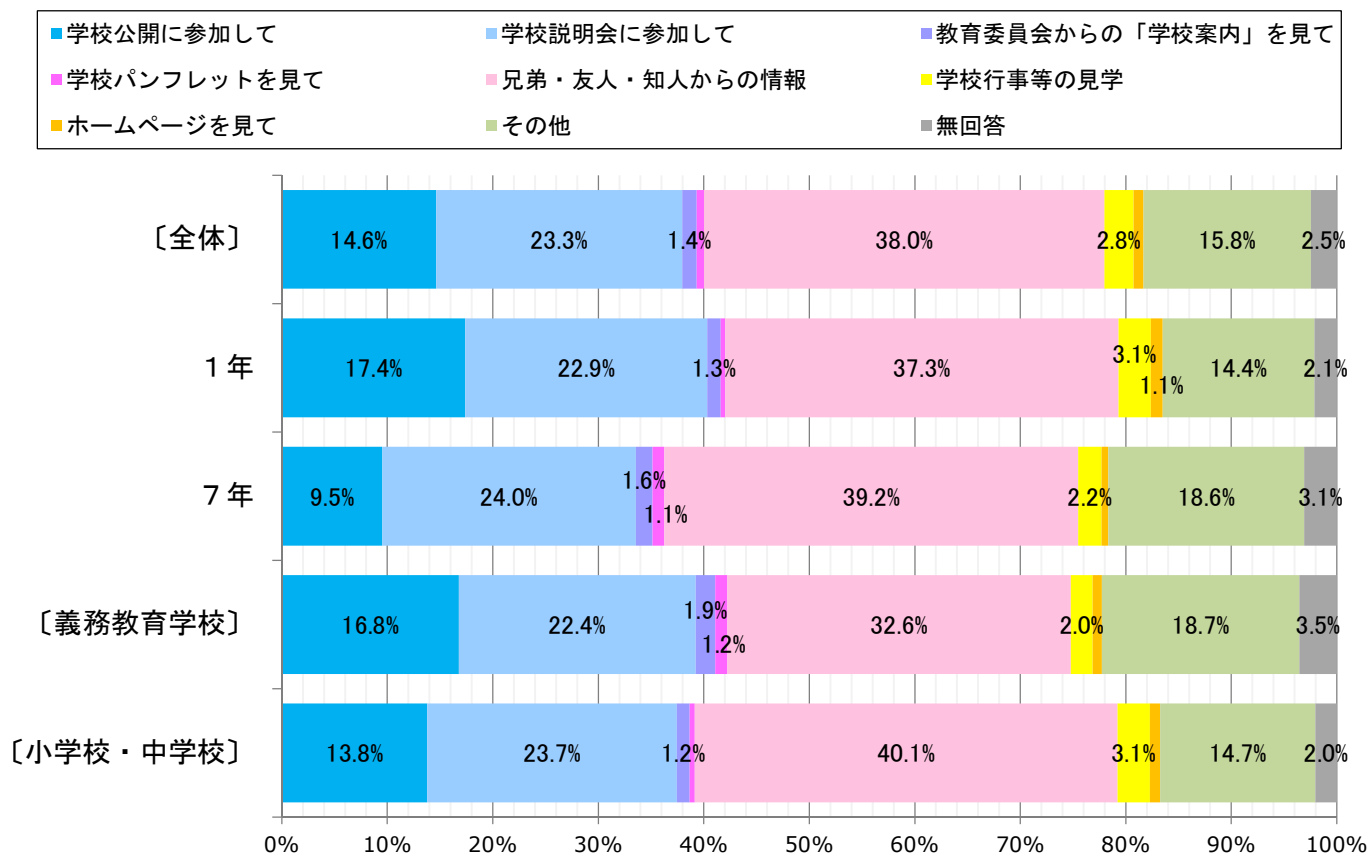
学校選択制を利用し「希望申請して、希望の学校に入学した」割合は1 年が23.4%、7 年が32.2%である。「希望申請しないで、指定校に入学した」の割合は、小学校・中学校が7 割強で、義務教育学校の6 割強より高い。

〔14〕 学校を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。（1、7年のみ）



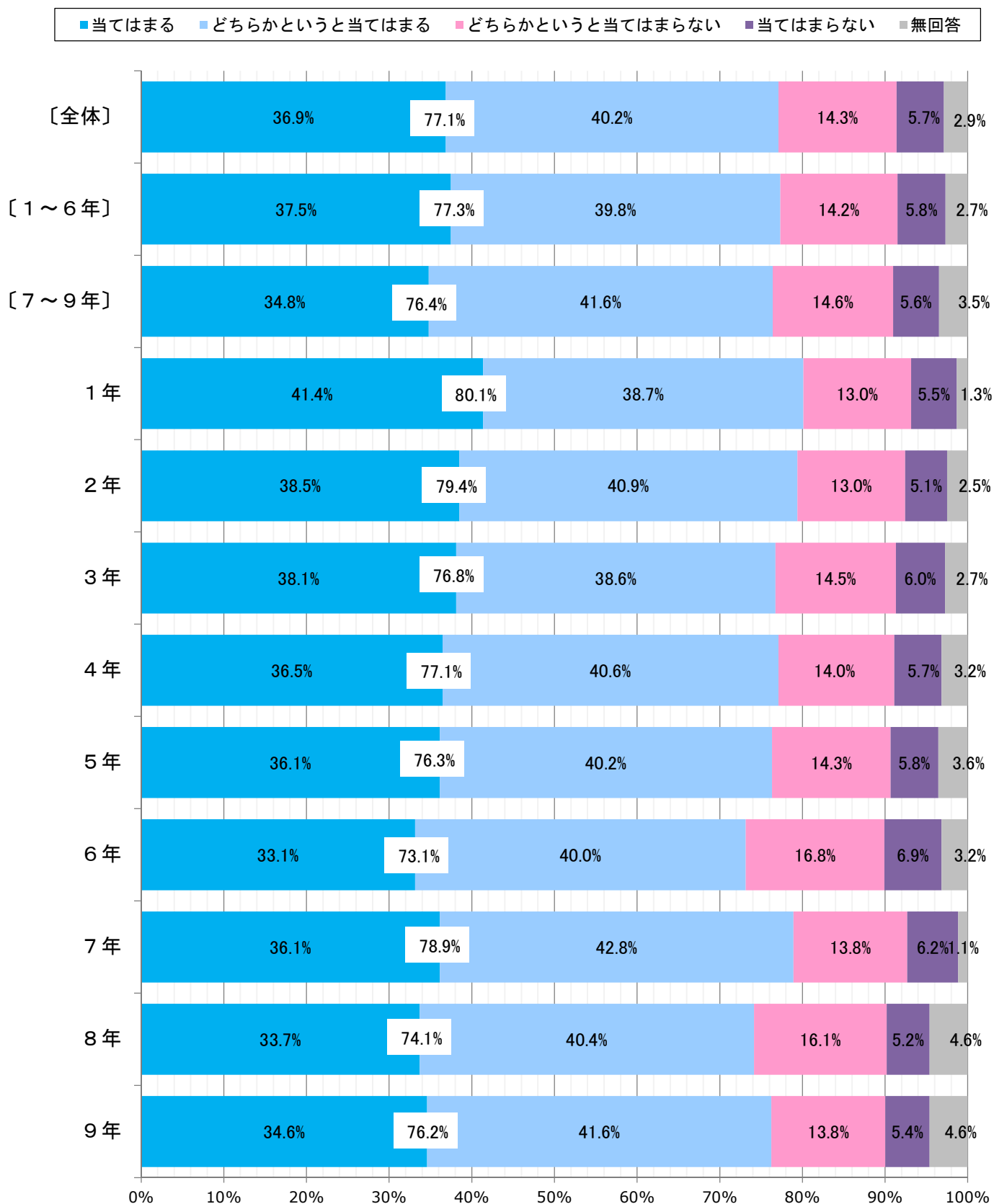
学校を選択する際、最も重視したことは、「地元で通学上便利だから」が1年で54.6%、7年で51.8%と5割を超えて最も高い。次いで、「兄弟関係・友人関係」が1年と7年ともに20.1%である。「施設・設備」の割合は、義務教育学校のほうが小学校・中学校より高い。

[15] 学校を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。（1、7年のみ）



学校選択をする際、最も重視した情報は、「兄弟・友人・知人からの情報」が1年で37.3%、7年で39.2%と最も高い。「兄弟・友人・知人からの情報」の割合は、小学校・中学校のほうが義務教育学校より高い。

[16] 学校選択は良い制度だと思う。

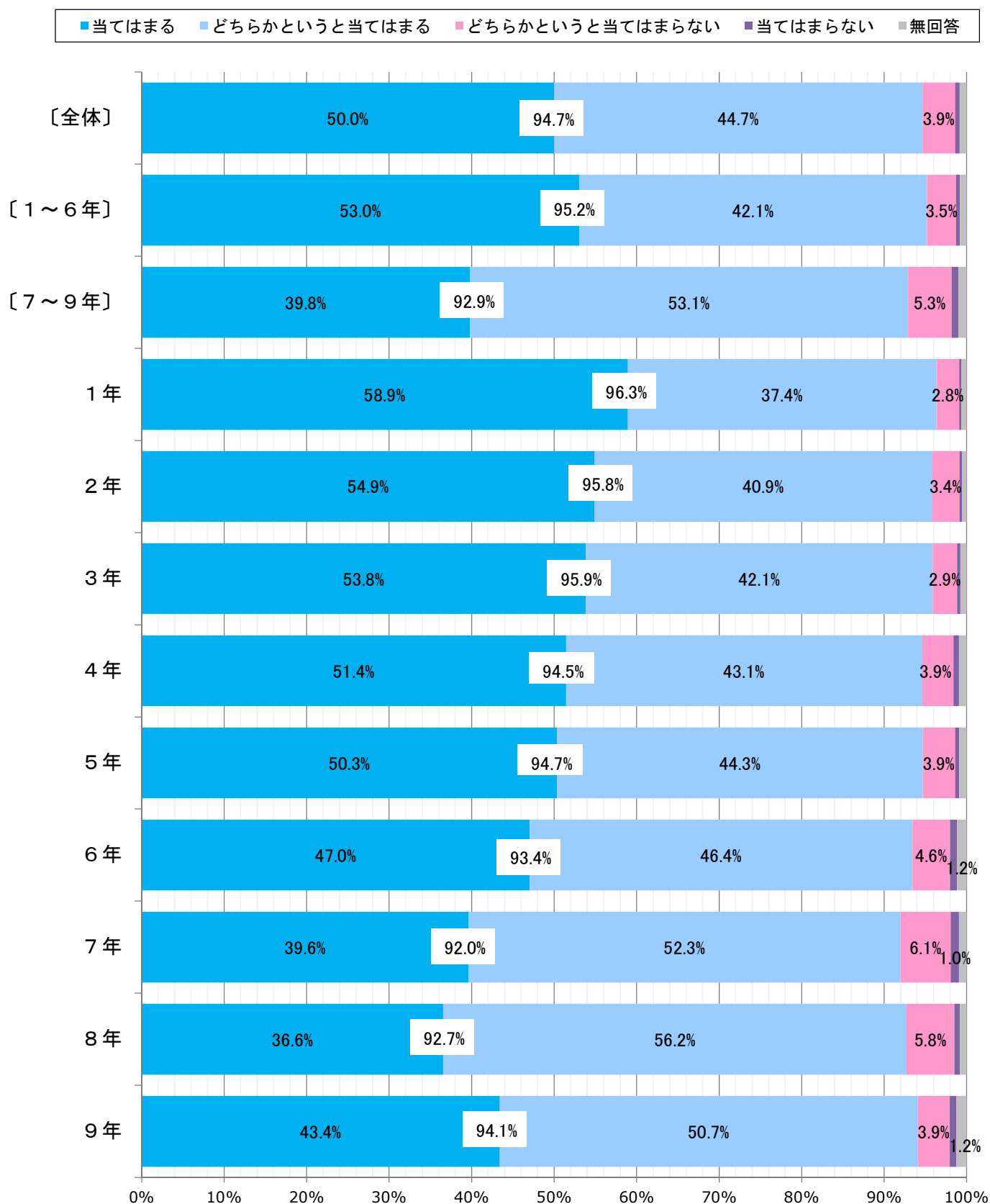


学校選択は良い制度だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で75%を超える。1～6年は77.3%、7～9年は76.4%である。

学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

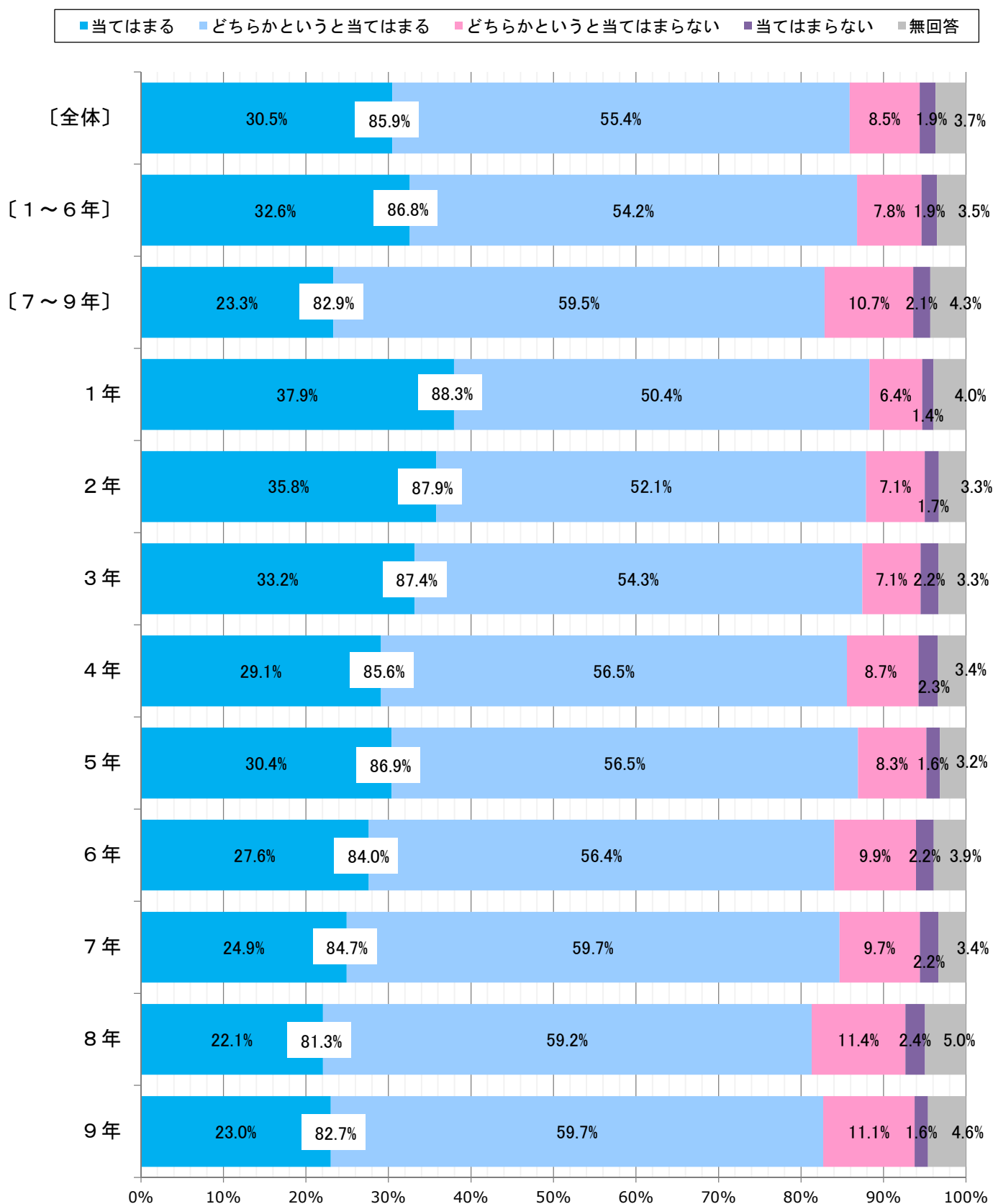
[C. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

[17] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



子どもが通っている学校は、地域と連携しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で約95%である。1～6年は95.2%、7～9年は92.9%である。
「当てはまる」の割合は、1～6年の53.0%に比べ、7～9年が39.8%と低く、7～8年で4割を切っている。

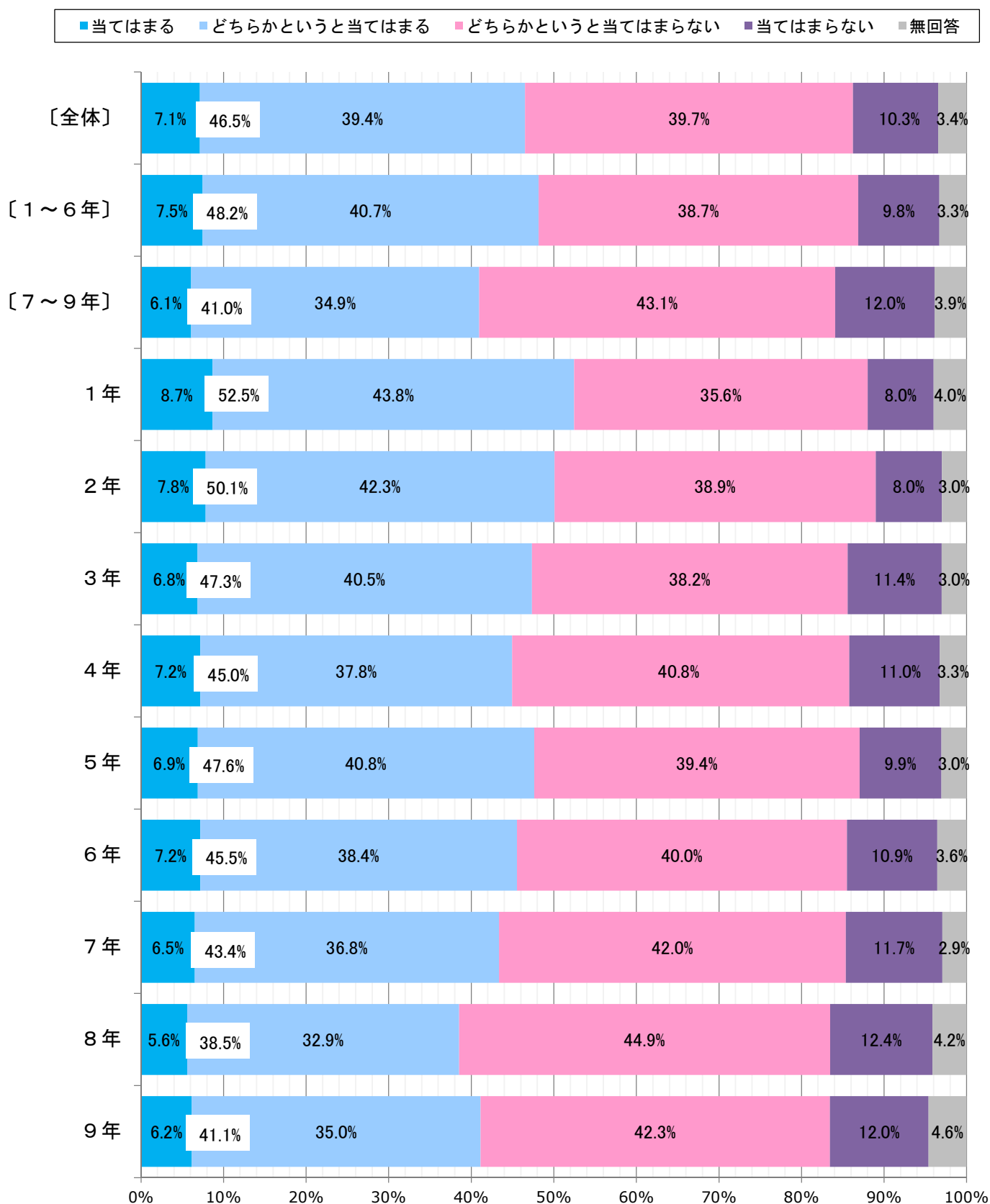
[18] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で85%を超えている。1～6年は86.8%、7～9年は82.9%である。

「当てはまる」は1～6年の32.6%に比べ、7～9年が23.3%と低い。

〔19〕 お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う。

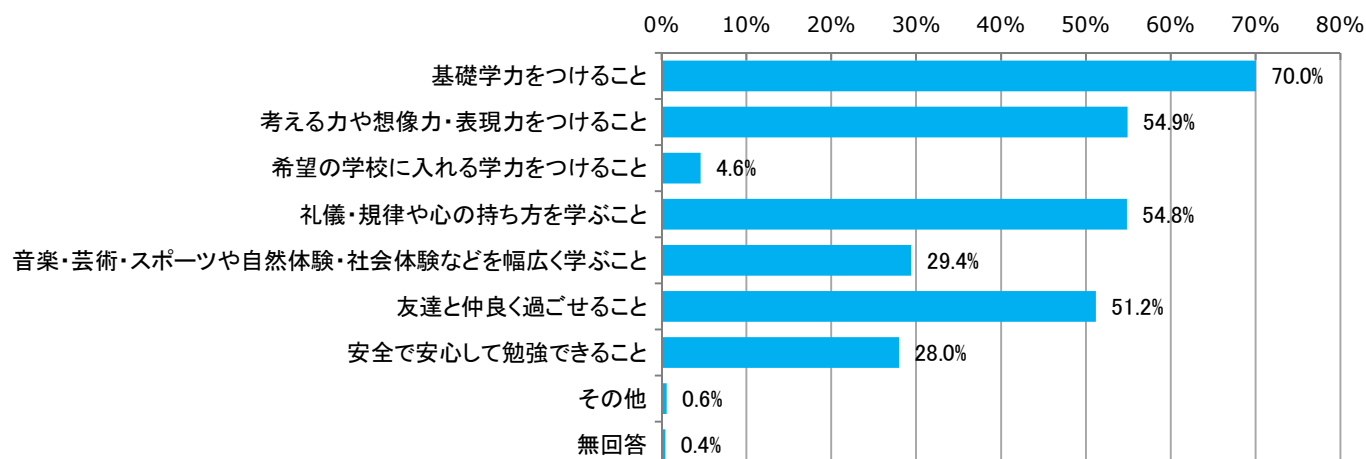


子どもが卒業した後も品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、46.5%と半数以下である。1～6年は48.2%、7～8年は41.0%である。学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

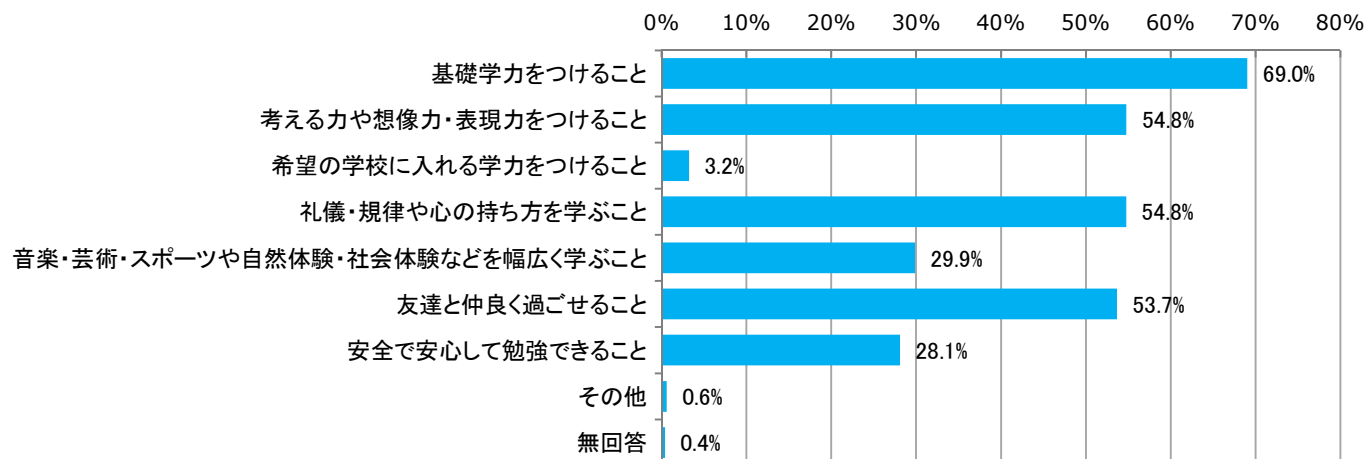
[D. 品川区の教育施策について]

[20] 義務教育段階で重要だと思うことは何ですか。3つまで選んでください。

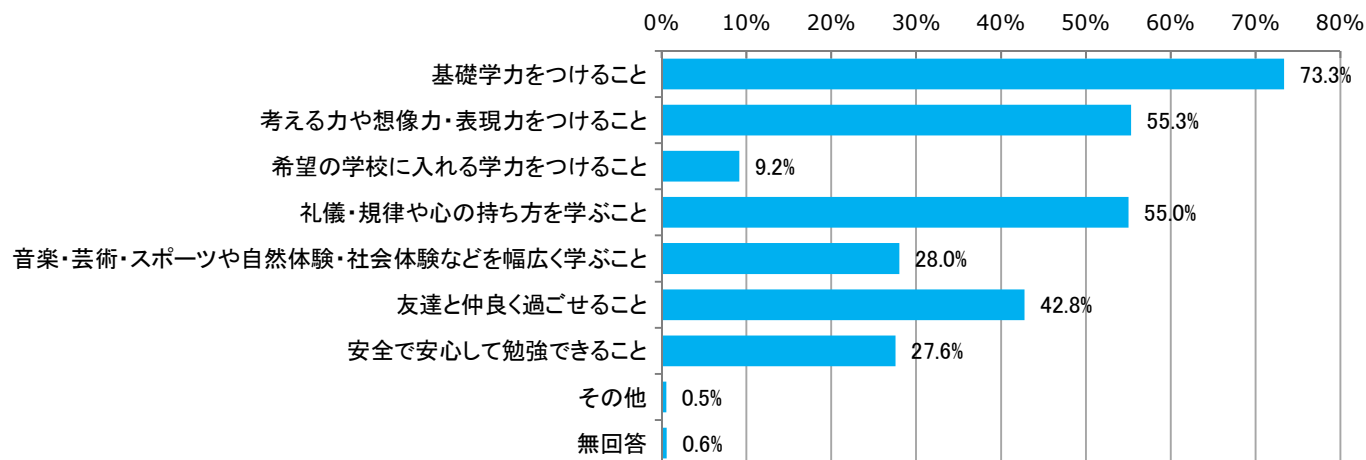
〔全体〕



〔1～6年〕

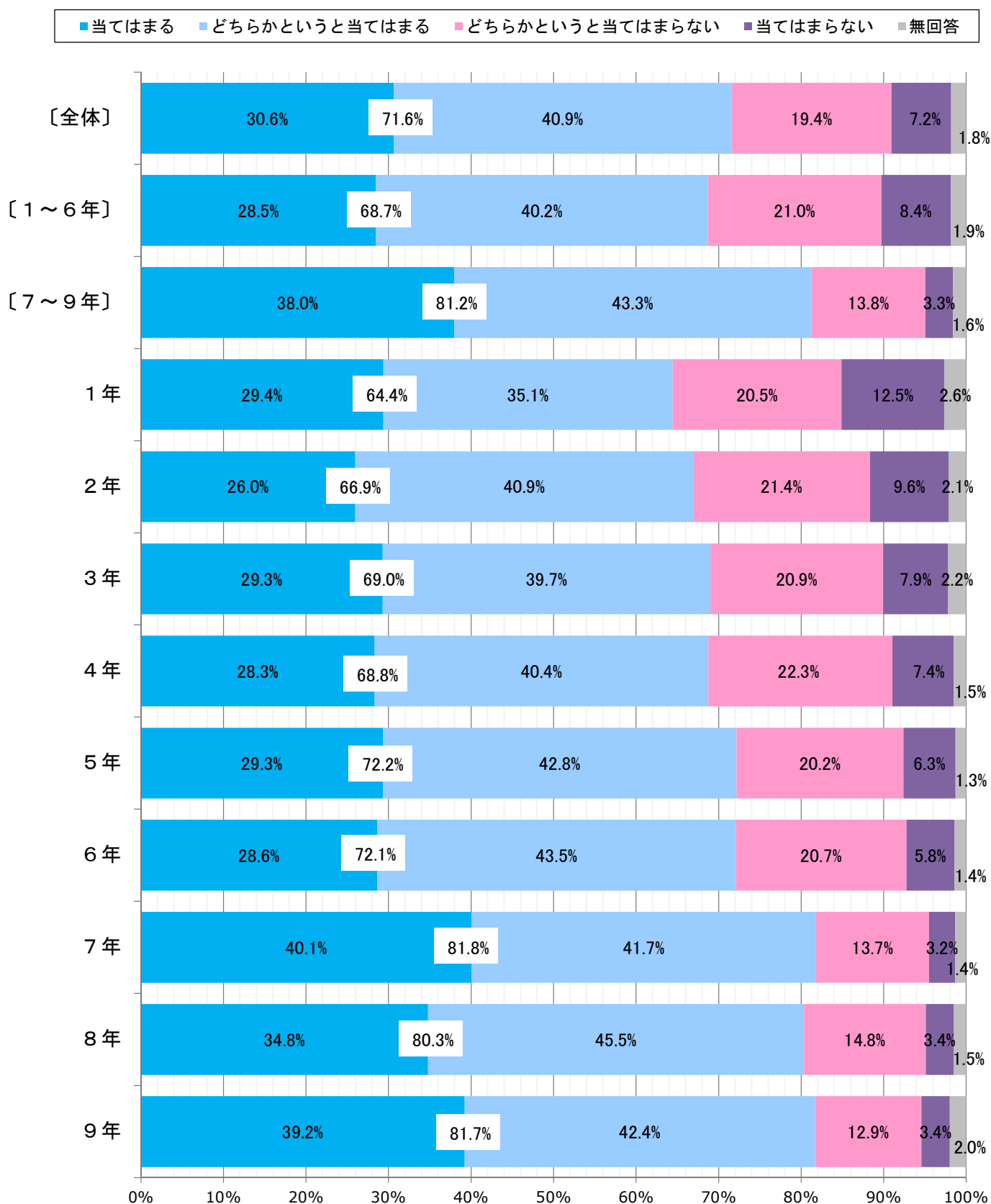


〔7～9年〕



義務教育段階で重要だと思うことは、「基礎学力をつけること」が最も高く、全体で70%である。次いで、「考える力や想像力・表現力をつけること」と「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」が全体でも、1～6年と7～9年でも55%前後のほぼ同程度の割合である。

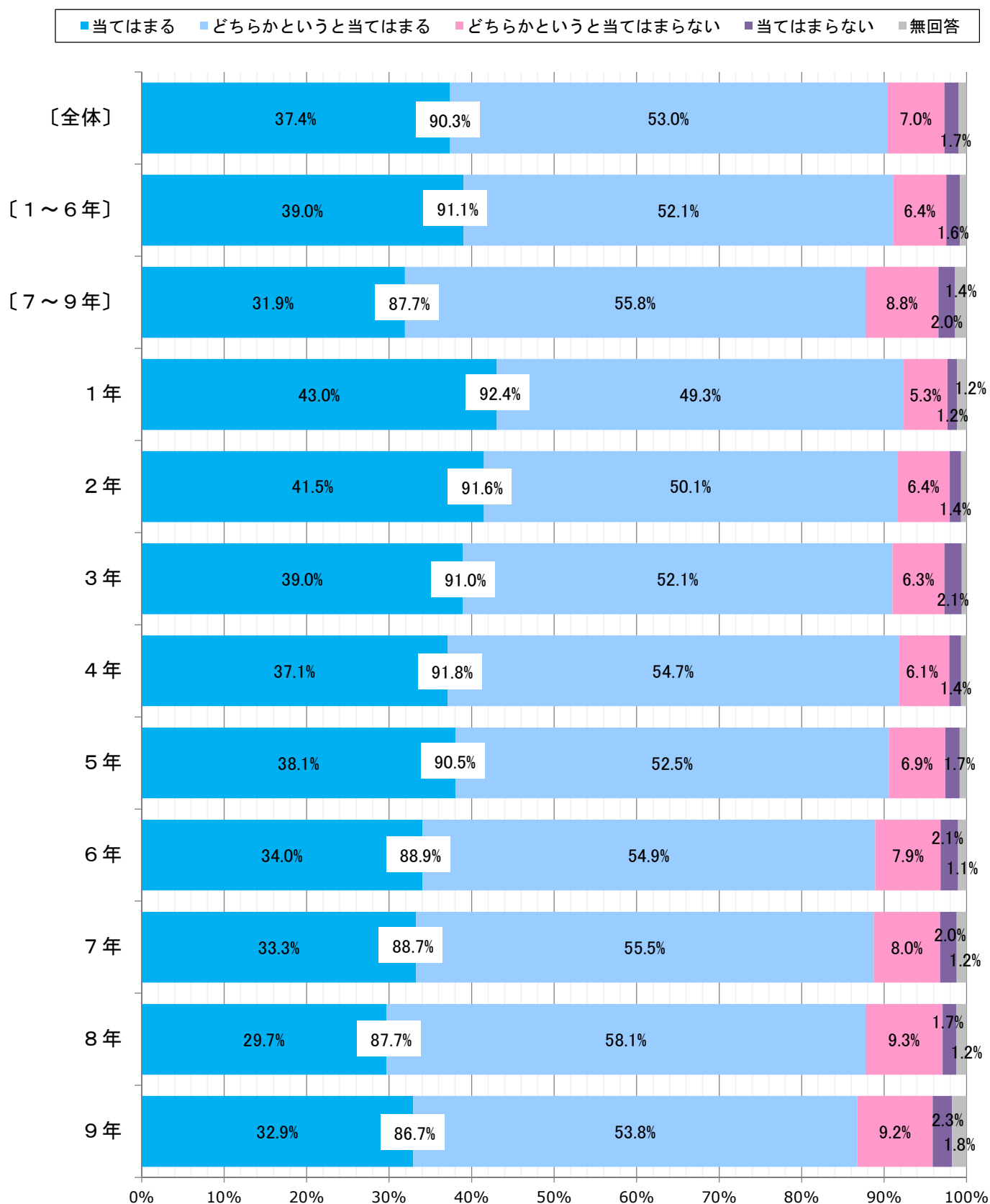
〔21〕 お子さんの通っている学校は一貫教育を推進している。



子どもが通っている学校は一貫教育を推進しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で70%を超える。1～6年は69.3%、7～9年は81.8%である。

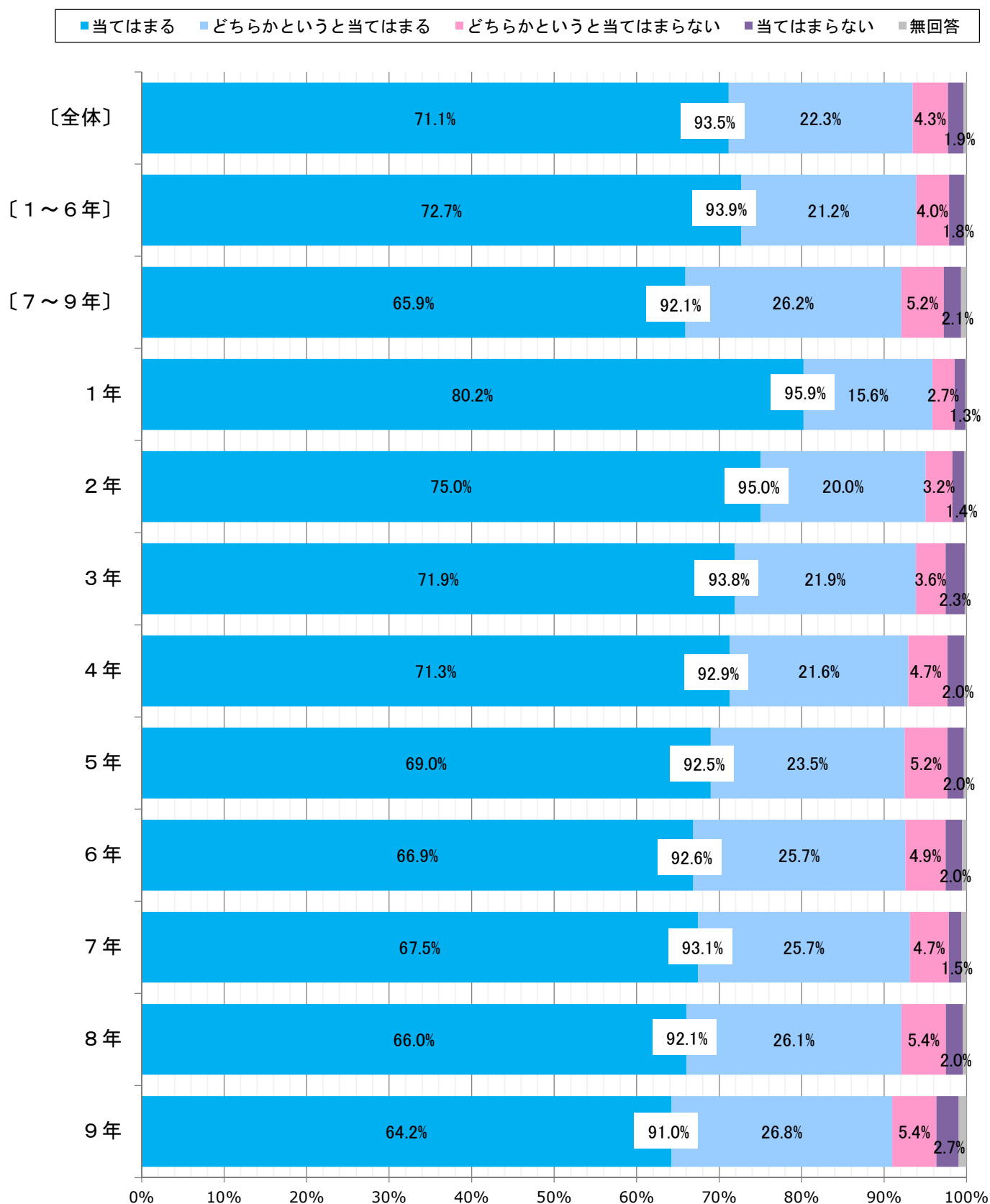
「当てはまる」の割合は、7～9年の37.9%に比べ、1～6年が28.6%と低い。

[22] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



独自教科である市民科は、良い学習だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で約90%である。1～6年は91.1%、7～9年は87.7%である。
「当てはまる」は8年が3割を切ってやや低いものの、学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

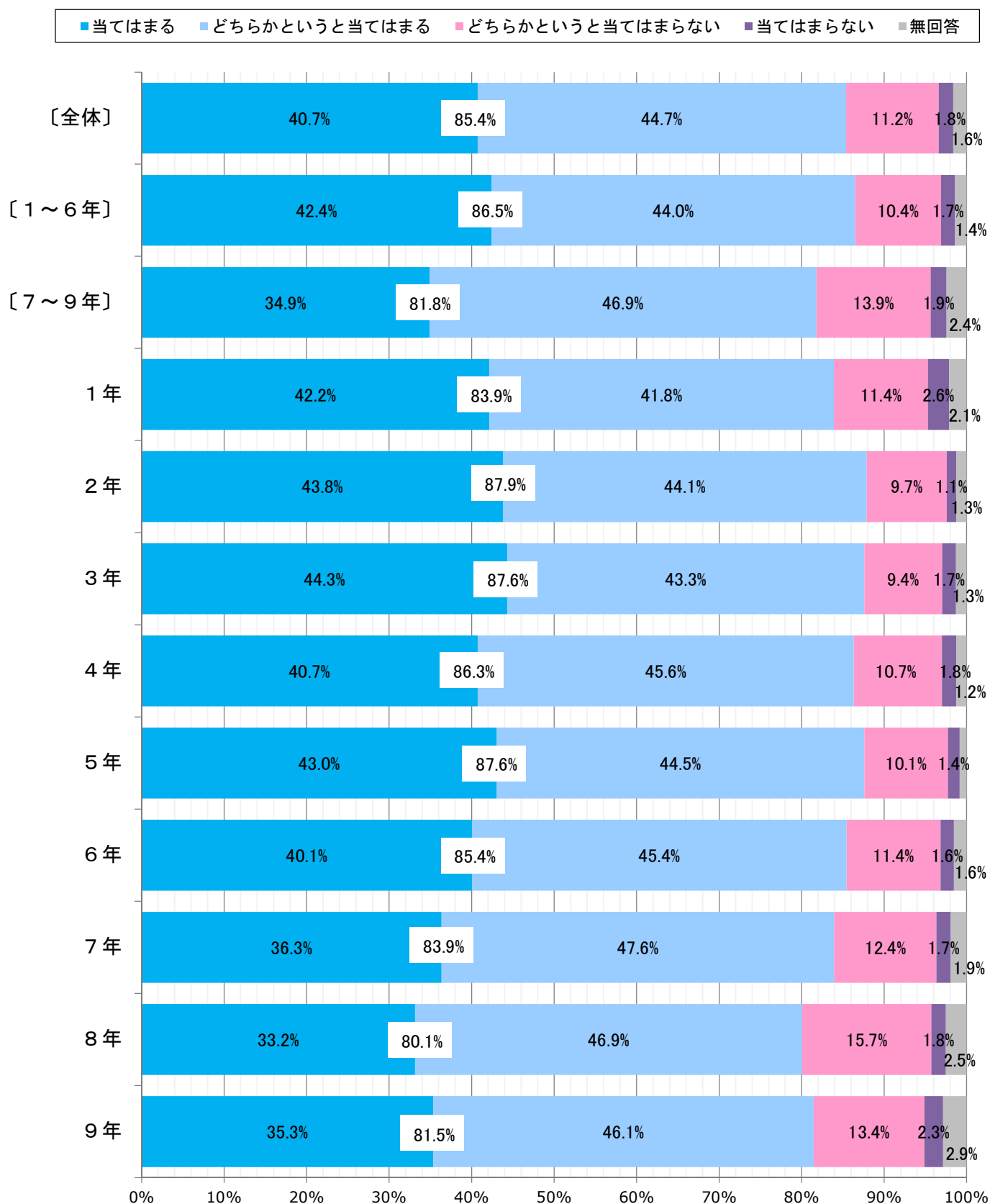
[23] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



1年生からの英語学習は良いことだと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は93.9%、7～9年は92.1%である。「当てはまる」の割合は、すべての学年で60%を超える。

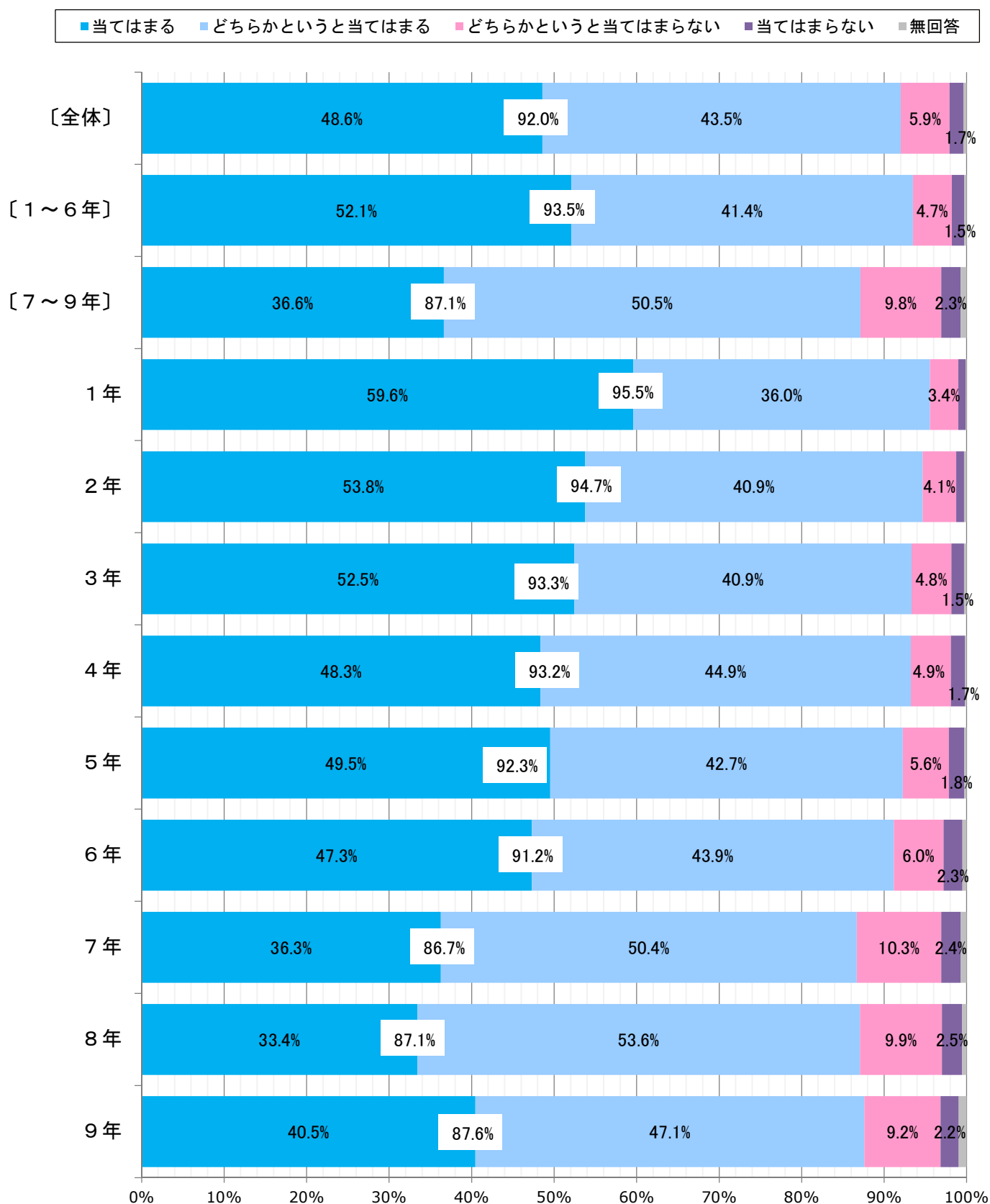
学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

[24] お子さんの通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進している。



子どもが通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で85%を超える。1～6年は86.5%、7～9年は81.8%である。
「当てはまる」の割合は、1～6年の42.4%に比べ、7～9年が34.9%と低い。

[25] 現在通っている学校に満足している。



現在通っている学校に満足しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は93.5%、7～9年は87.1%である。
「当てはまる」の割合は、1～6年の52.1%に比べ、7～9年が36.6%と低く、7～8年では4割を切っている。

平成30年度児童・生徒アンケートの結果

平成30年度児童・生徒アンケートの概要

【目 的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査期間】

平成31年1月23日（水）から平成31年2月1日（金）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

配布数 17,950 回答数 16,794（内、有効回答数 16,541） 回答率 92.2%

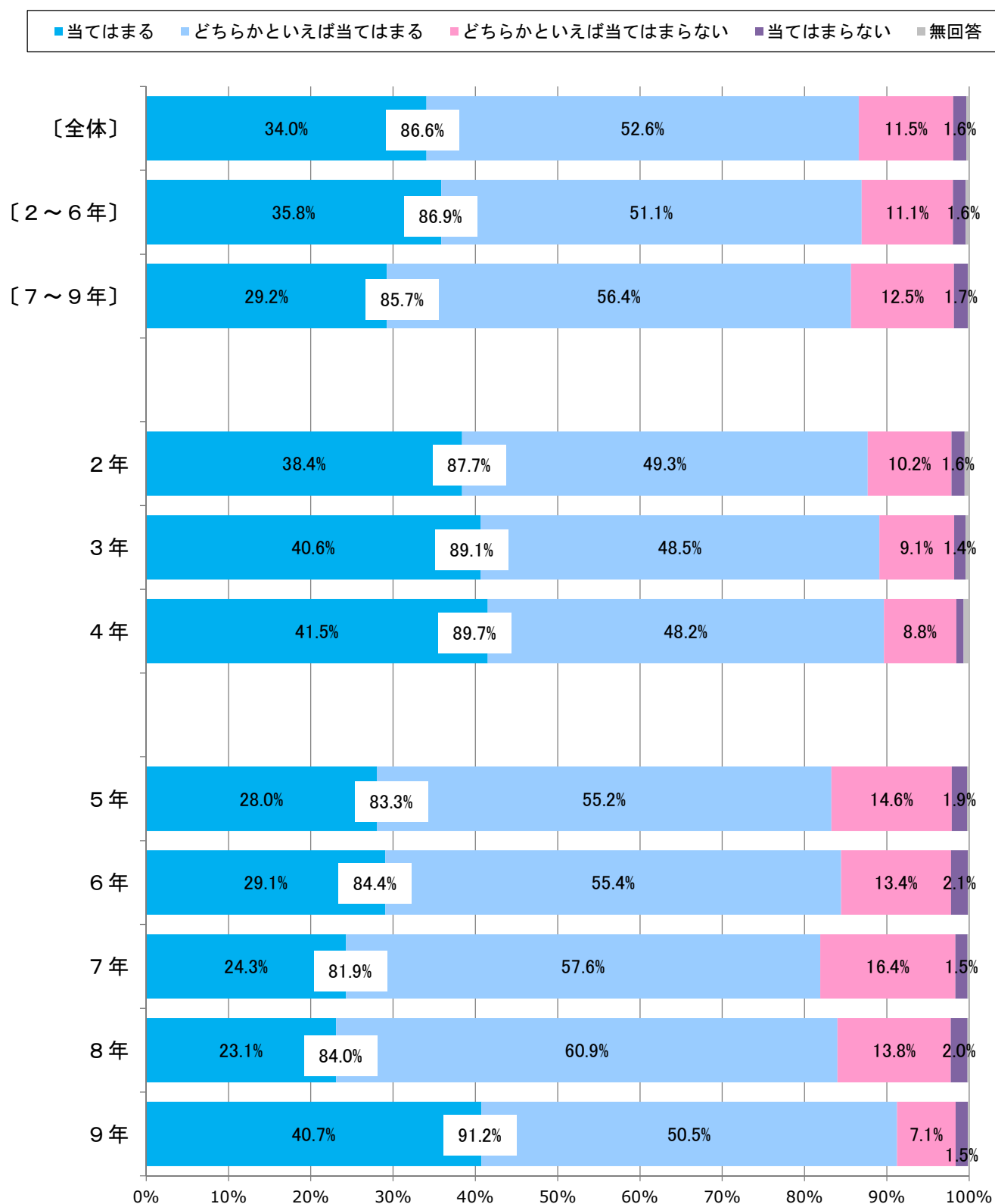
注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. 表中の「義務教育学校」とは、「日野学園」「伊藤学園」「八潮学園」「荏原平塚学園」「品川学園」「豊葉の杜学園」の6校の合計である。
4. 表中の「小学校」「中学校」とは、それぞれ、前項の義務教育学校6校を除く小学校31校、中学校9校の合計である。
5. 『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」、「とても興味がある」と「興味がある」、「ぜひ参加したい」と「参加したい」の合計である。

[A. 学校や家での様子について]

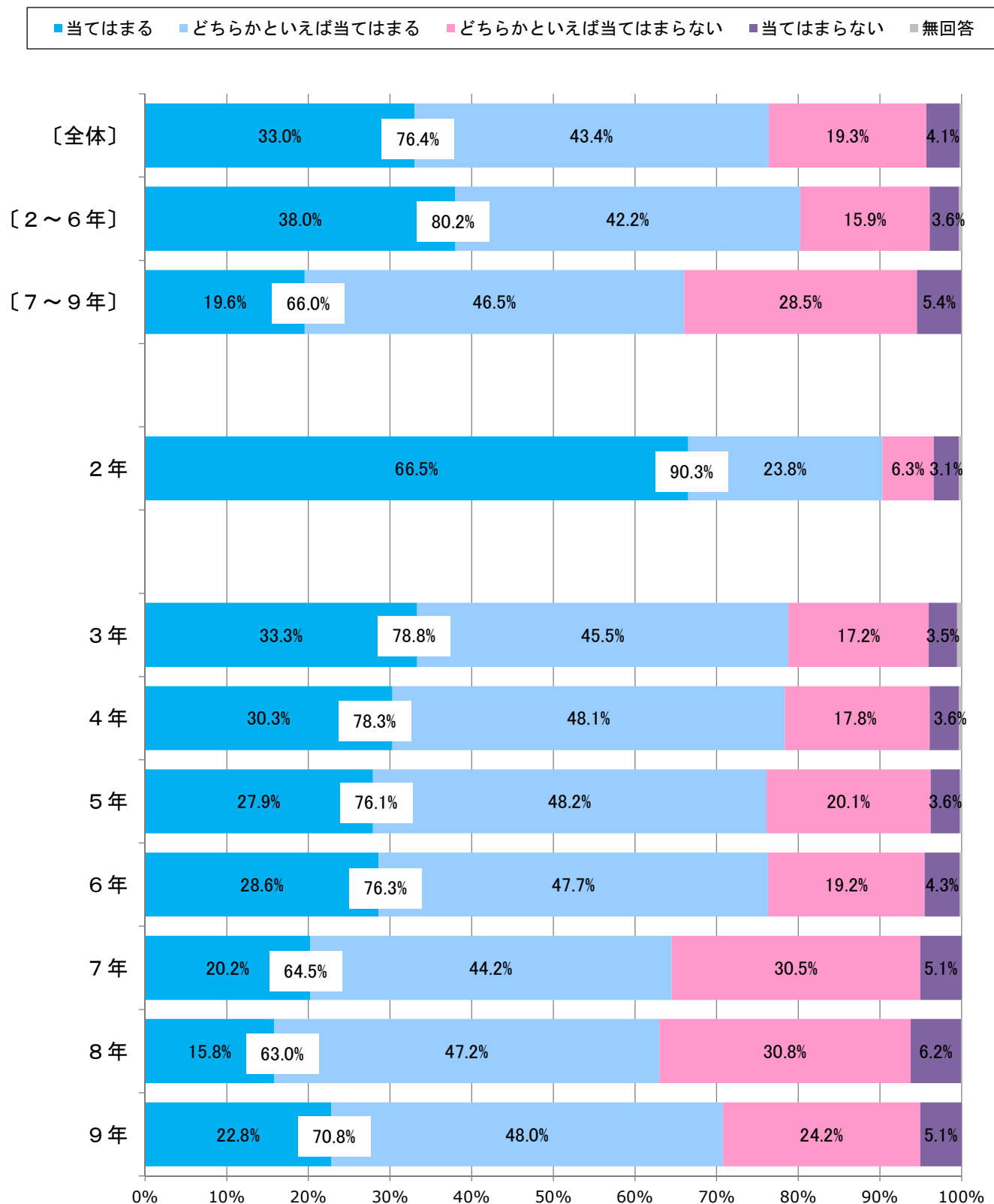
[1] (2～4年) 自分のことは自分で行うようにしている。

(5～9年) 自分で判断し、責任をもって行動しようとしている。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は全体で85%を超える。2～6年は86.9%、7～9年は85.7%である。
6～7年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなる傾向にあるが、9年においては40.7%と2～4年と同じく高く、『肯定的な回答』も9割を超える。

[2] (2年) 前の日のうちに、次の日の用意をしている。
(3～9年) 自分の予定を考えながら計画的に生活することができる。



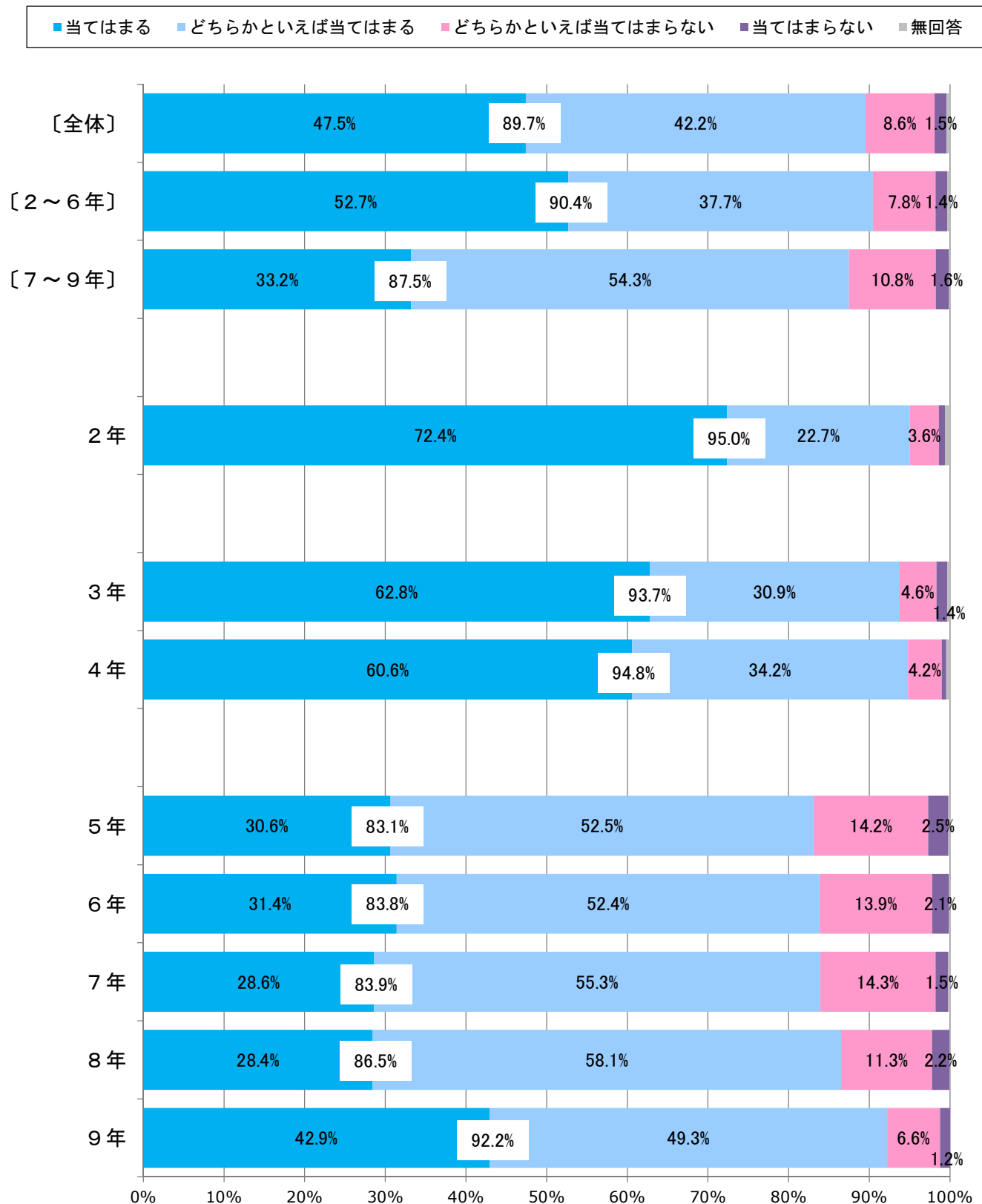
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で75%を超える。2～6年は80.2%、7～9年は66.0%である。

「当てはまる」の割合は、2年が66.5%と高く、2～6年の38.0%に比べ、7～9年は19.6%と低い。

[3] (2年) 友達と仲良くすることができている。

(3・4年) 友達の個性を認めて、仲良くすることができている。

(5～9年) 社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる。



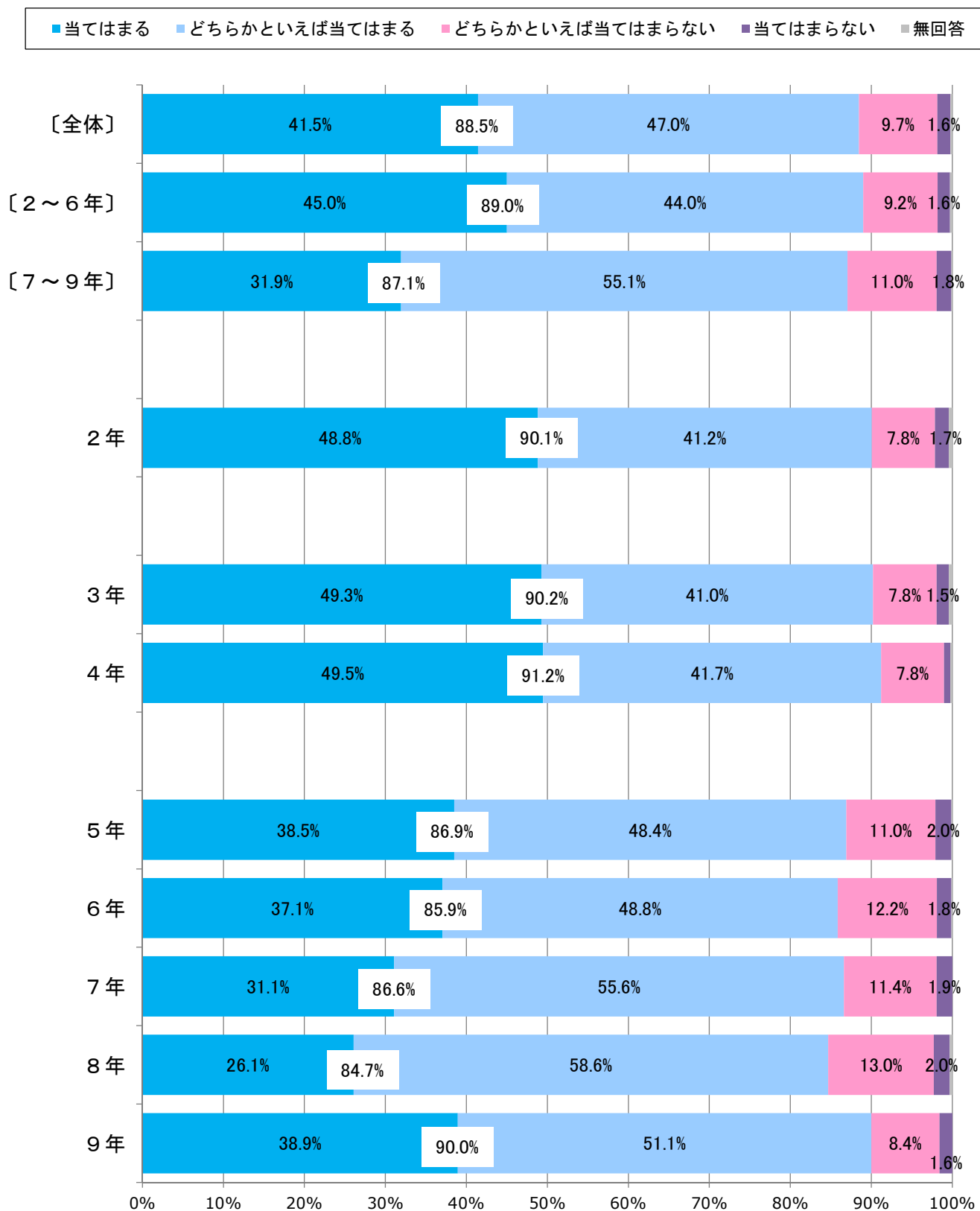
『肯定的な回答』をした児童・生徒は全体で約90%である。2～6年は90.4%、7～9年は87.5%である。

5～8年において「当てはまる」の割合が3割前後と低い。

【4】（ 2年 ） 人の目を見て話をしたり、聞いたりすることができる。

（ 3・4年 ） 自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる。

（ 5～9年 ） 自分の考えを適切に相手に伝えたり、友達の考えを理解したりしながら、人間関係を築くことができる。

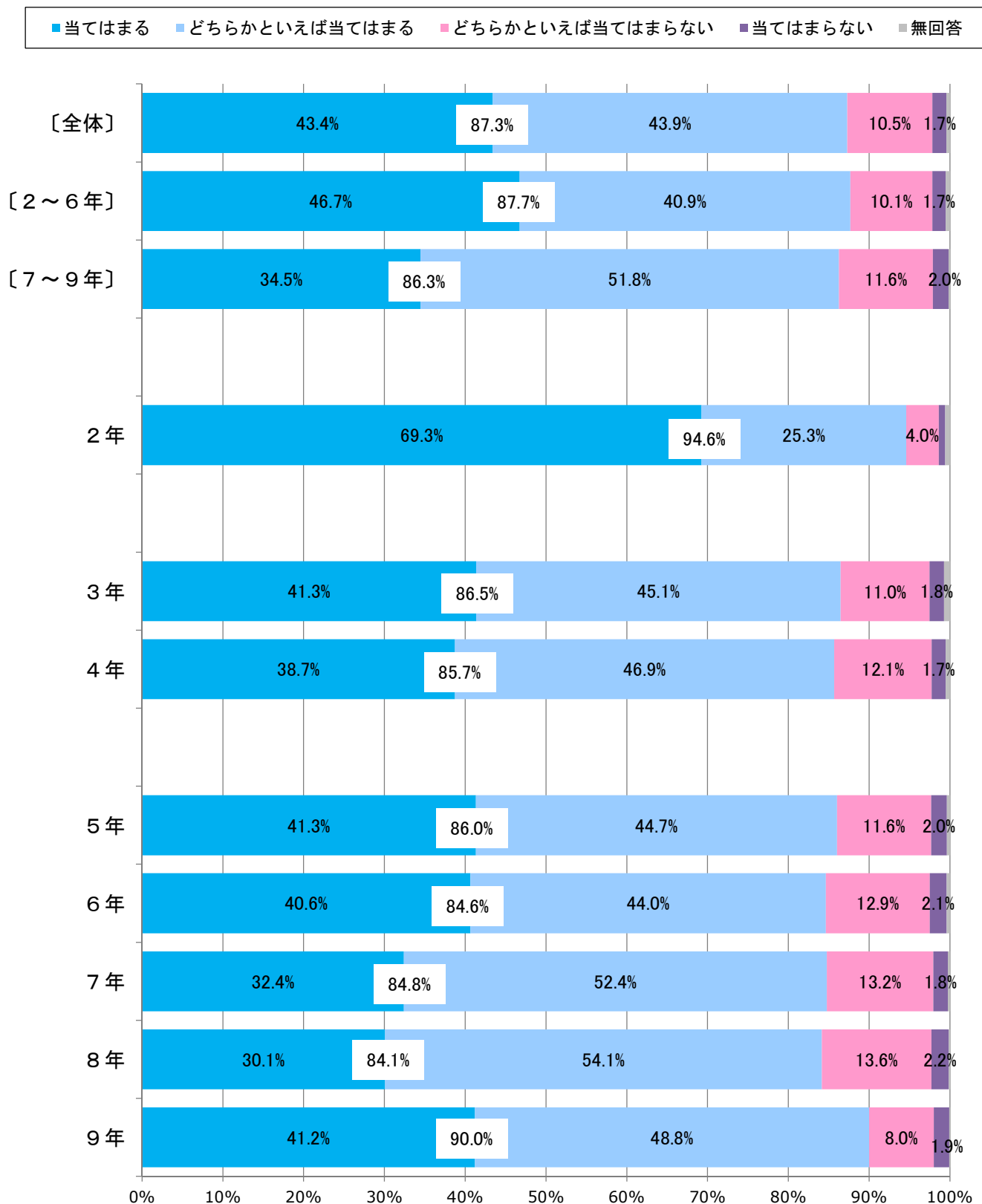


『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で85%を超える。2～6年で89.0%、7～9年で87.1%である。
5～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなり、9年で高くなる傾向がある。

[5] (2年) 係の仕事をしっかりできる。

(3・4年) 学級の目標の達成に向け、自分のできることを行うことができる。

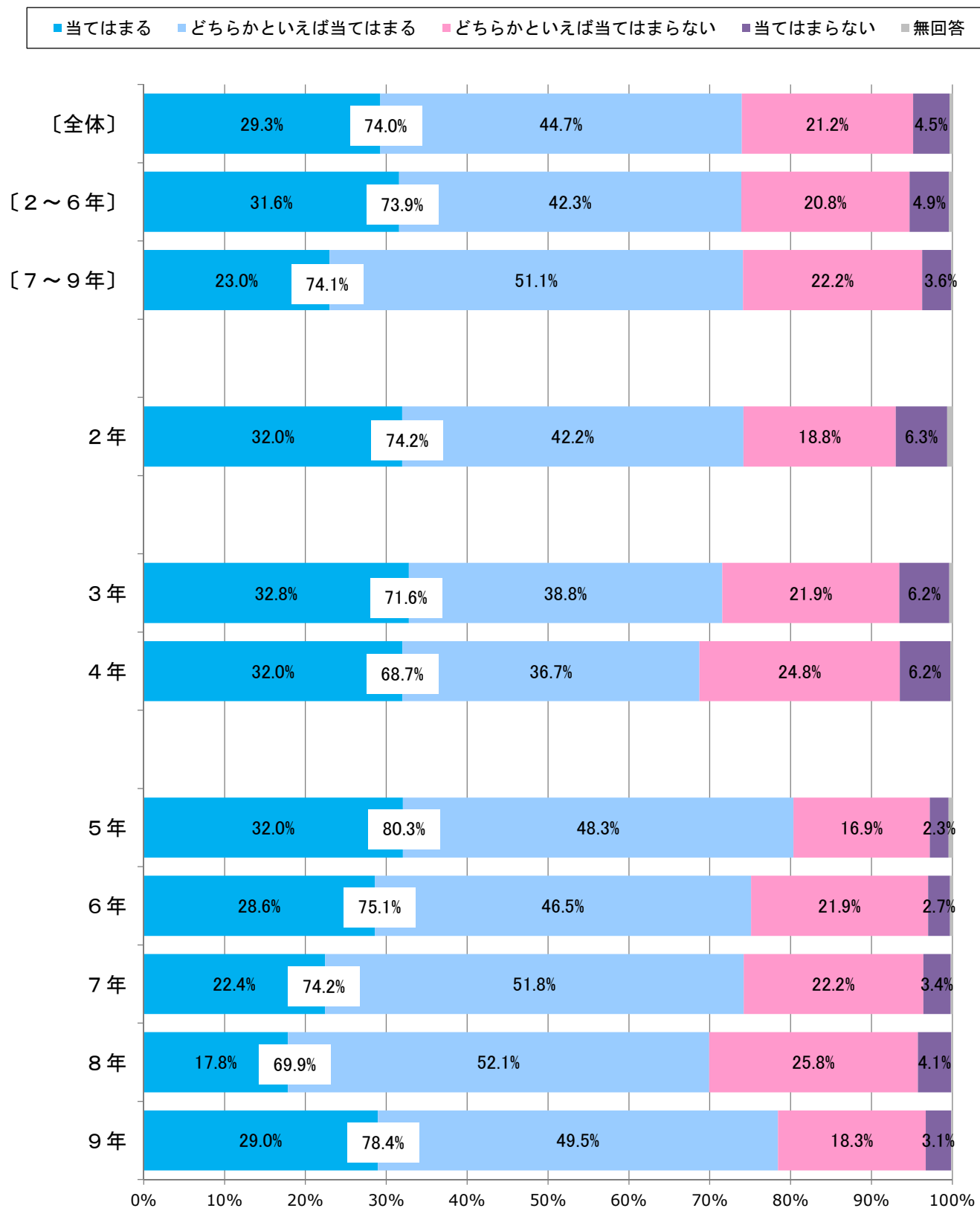
(5～9年) 自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で85%を超える。2～6年は87.7%、7～9年は86.3%である。

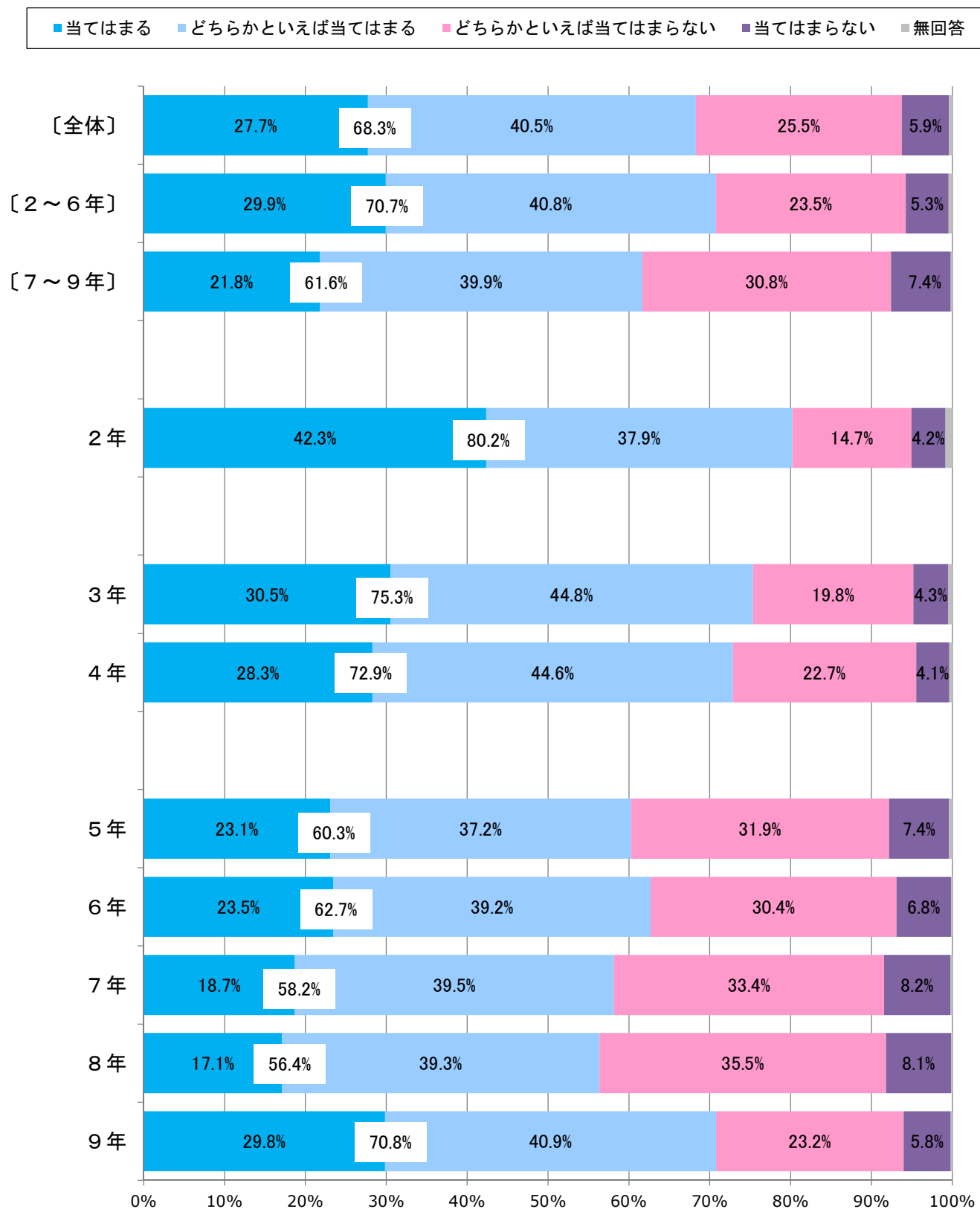
5～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなり、9年で高くなる傾向がある

- [6] (2年) 良いクラスをつくるため、話合いで意見を言える。
 (3・4年) 学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる。
 (5～9年) 学級などの集団で活動するときに、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超える。2～6年は73.9%、7～9年は74.1%である。
 5～8年において「当てはまる」の割合は、学年が上がるごとに低くなる傾向があり、特に8年で17.8%と低く、9年で6年と同程度に高くなる。

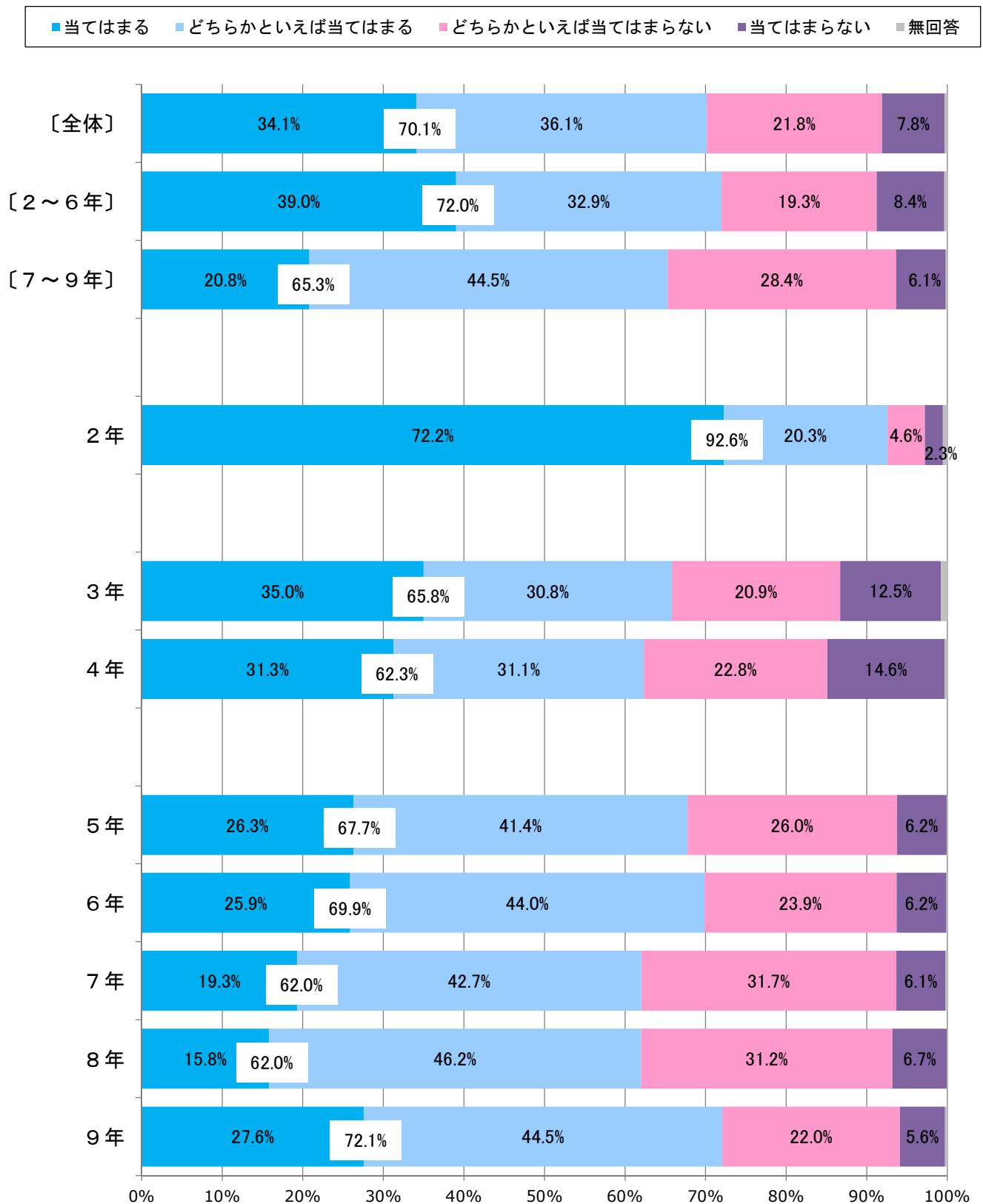
- 【7】（ 2年 ） クラスや学校の発表会で工夫して発表している。
（ 3・4年 ） 自分の思いや考えを分かりやすく伝えるために工夫することができる。
（ 5～9年 ） 学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で65%を超える。2～6年は70.7%、7～9年は61.6%である。

「当てはまる」の割合が、7～8年で2割を切って低く、9年で3割近くに上昇している。

- [8] (2年) 季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う。
 (3・4年) 地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している。
 (5～9年) 学校や地域、我が国や諸外国の伝統文化について、理解を深めようとする事ができる。



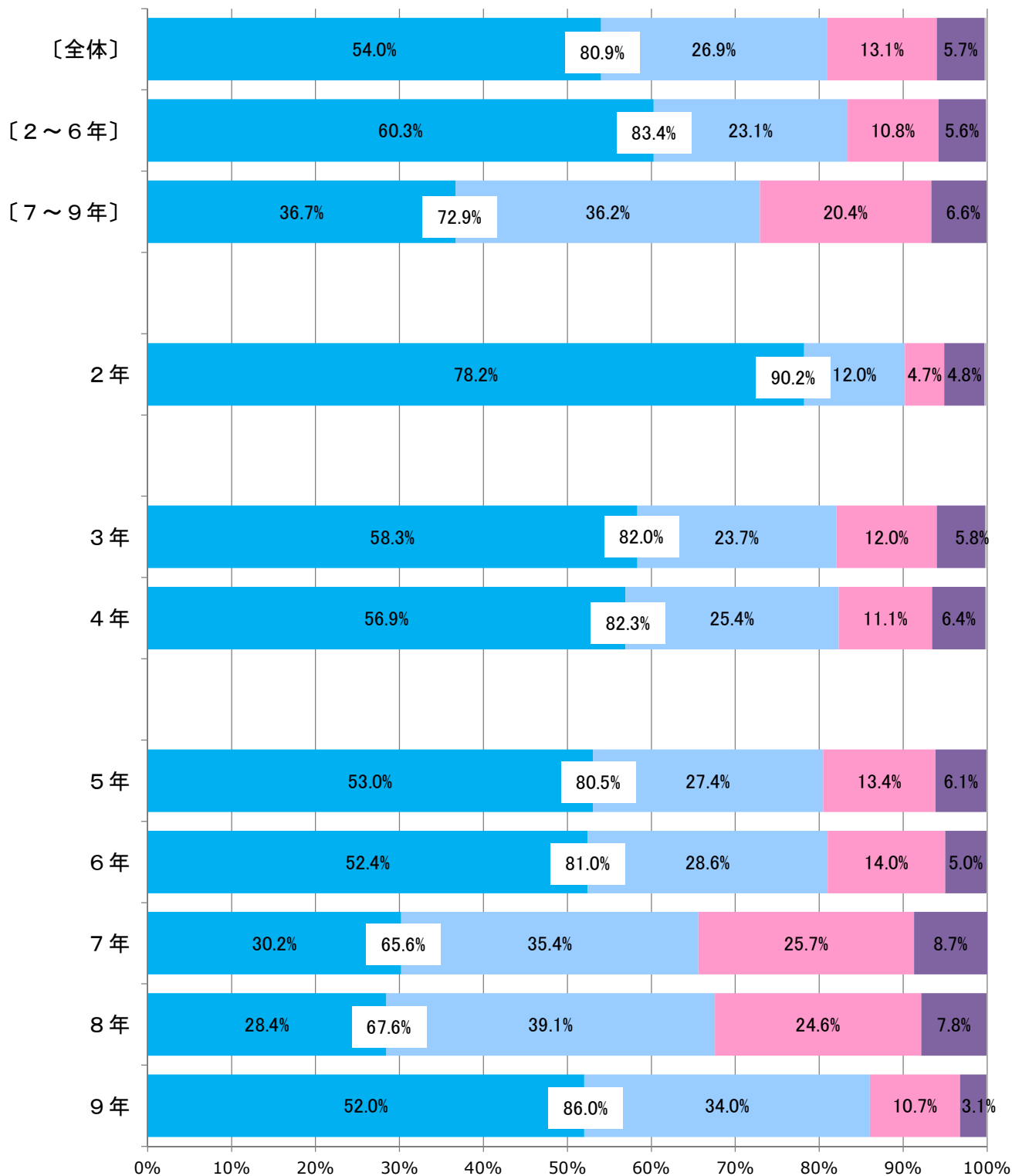
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で約70%である。2～6年は72.0%、7～9年は65.3%である。
 「当てはまる」の割合は、7～8年で2割を切って、特に8年では15.8%と低く、9年で27.6%に上昇している。

[9] (2年) 将来なりたい仕事ややりたいことがある。

(3・4年) 将来なりたい職業ややりたいことがあり、そのために努力していることがある。

(5～9年) 将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している。

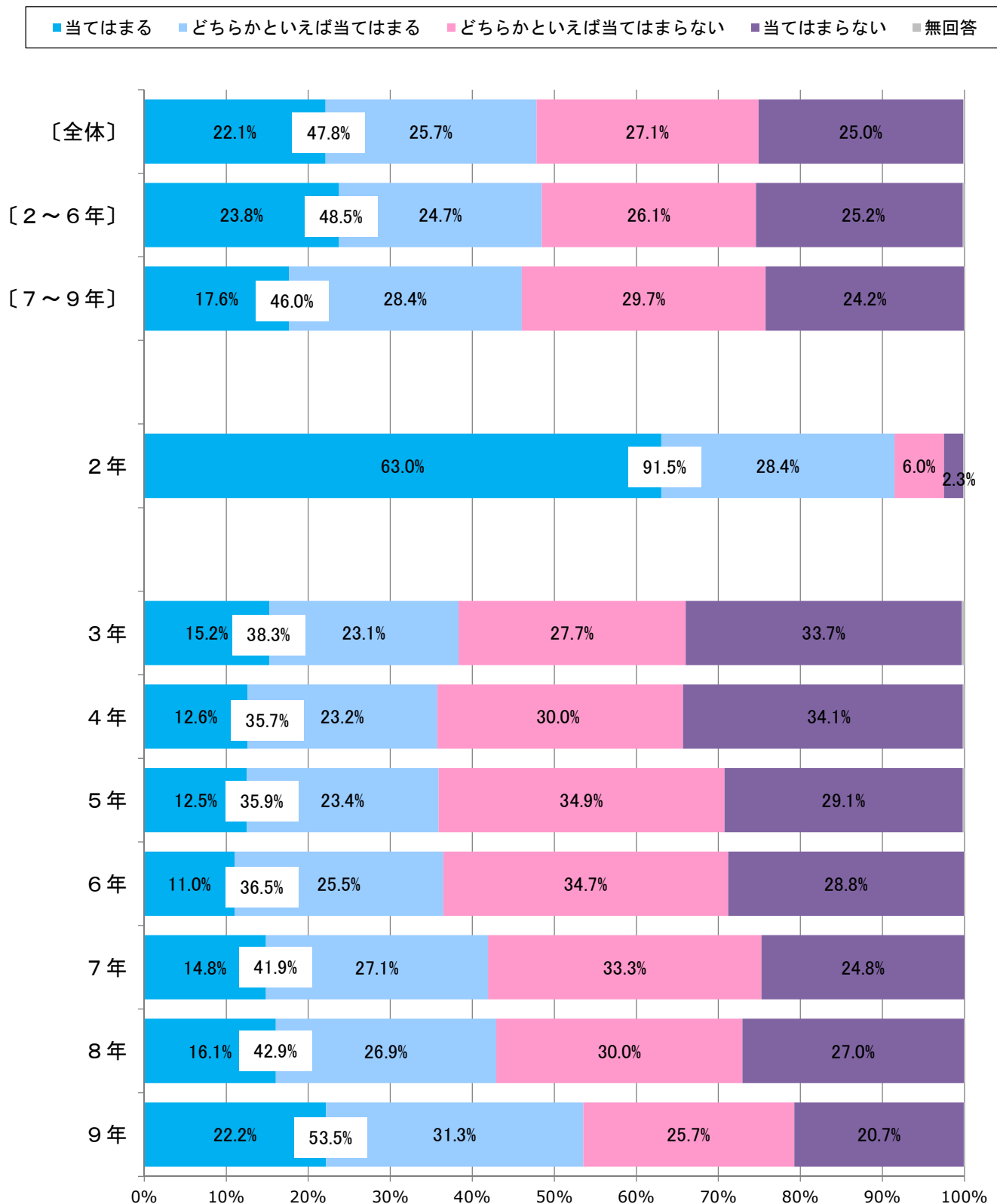
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で約80%である。2～6年で83.4%、7～9年で72.9%である。

「当てはまる」の割合は、6年の50.5%に比べ、7～8年で3割前後と低く、9年が51.0%と5～6年と同程度に上昇している。

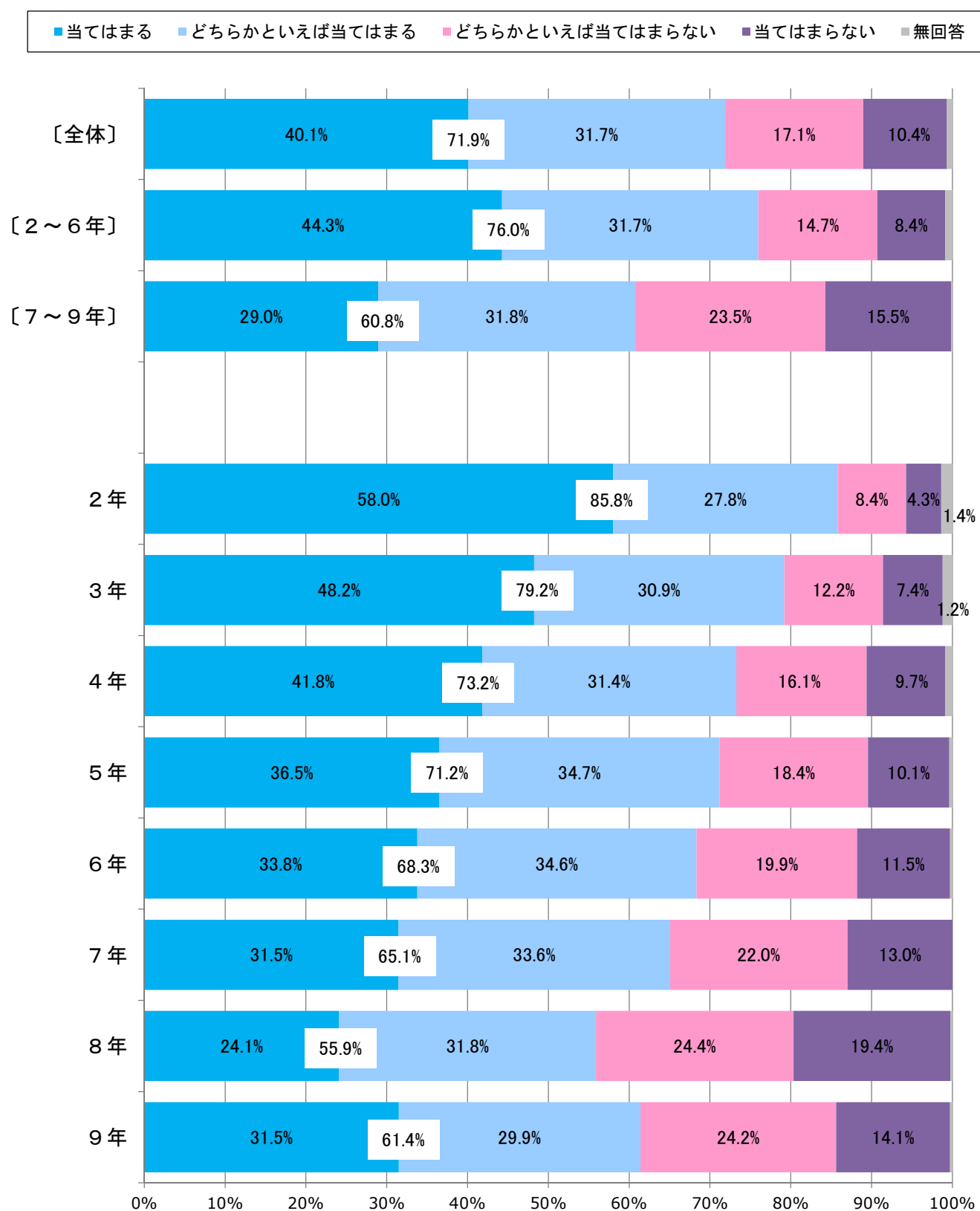
[10] (2 年) みんなのために働くのは楽しいと思う。
(3～9年) ボランティア活動などに参加している。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で47.8%と半数以下である。2～6年で48.5%、7～9年で46.0%である。
3～8年において「当てはまる」の割合は、2割を切って低く、9年で22.2%と2年以外の他の学

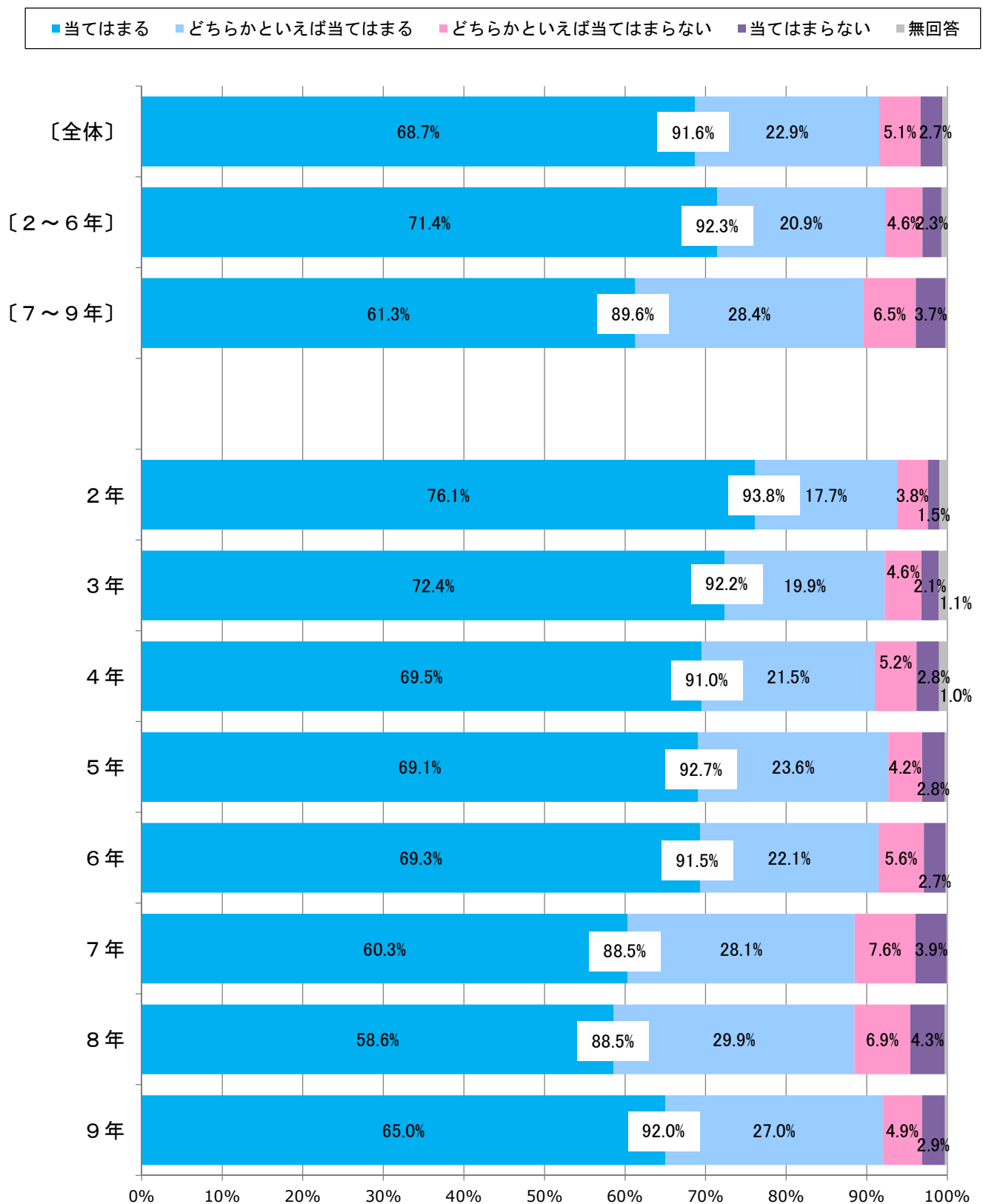
[B. 英語の学習について]

[11] 英語の学習は好きである。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超える。2～6年は76.0%、7～9年は60.8%である。
「当てはまる」の割合は、2～8年で学年が上がるごとに階段状に低くなる傾向があるが、9年で31.5%と上昇している。

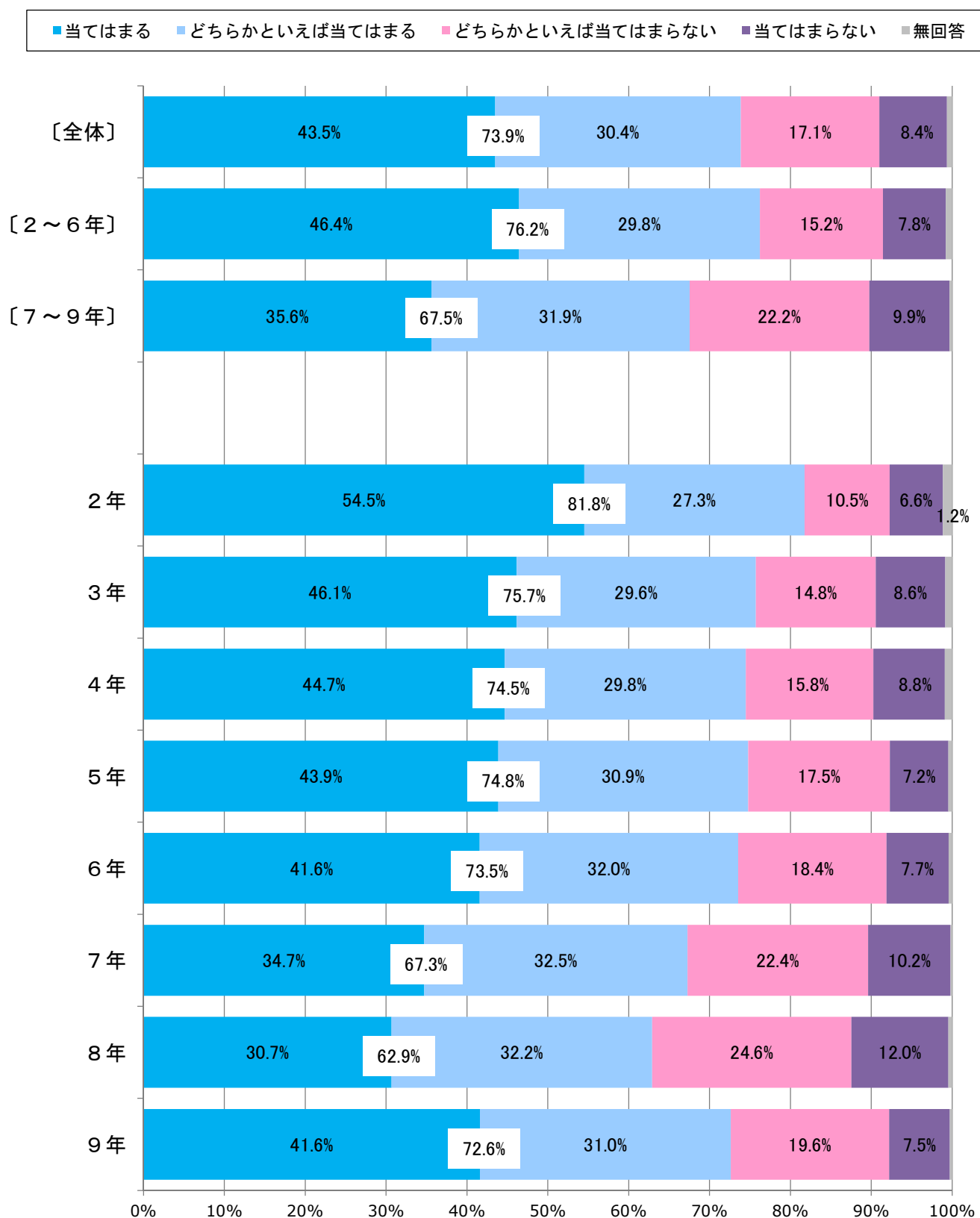
[12] 英語の学習は大切だと思う。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で90%を超える。2～6年は92.3%、7～9年は89.6%である。

「当てはまる」の割合は、8年以外で6割を超え、8年も58.6%6割近くになっている。

[13] 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う。

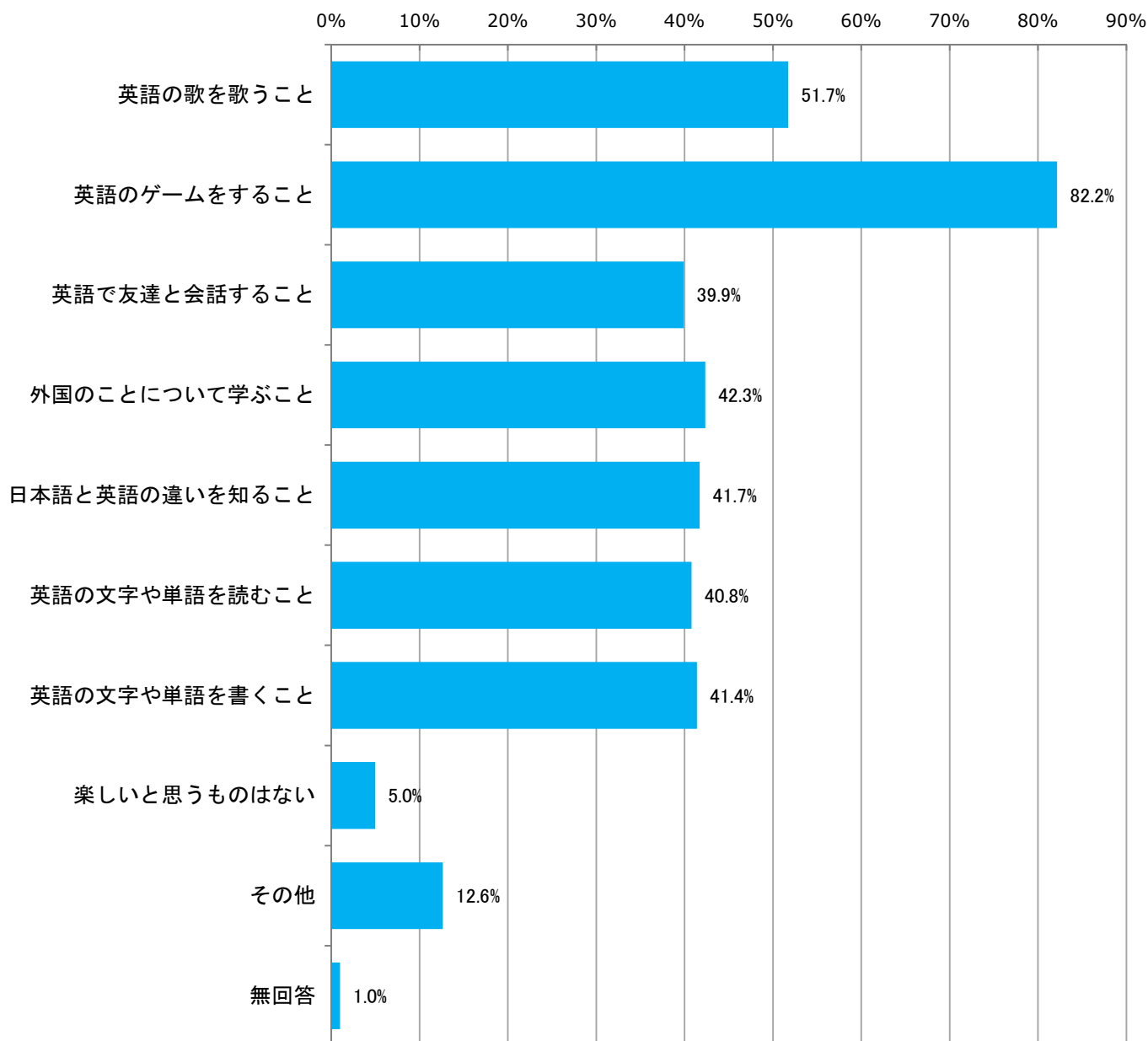


『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超える。2～9年は76.2%、7～9年は67.5%である。

2～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなる傾向がある。また、8年の30.7%に比べ、9年が41.6%と6年と同割合に上昇している。

〔14〕 英語の授業で楽しいと思うことはどのようなものですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(2～4年生のみ)

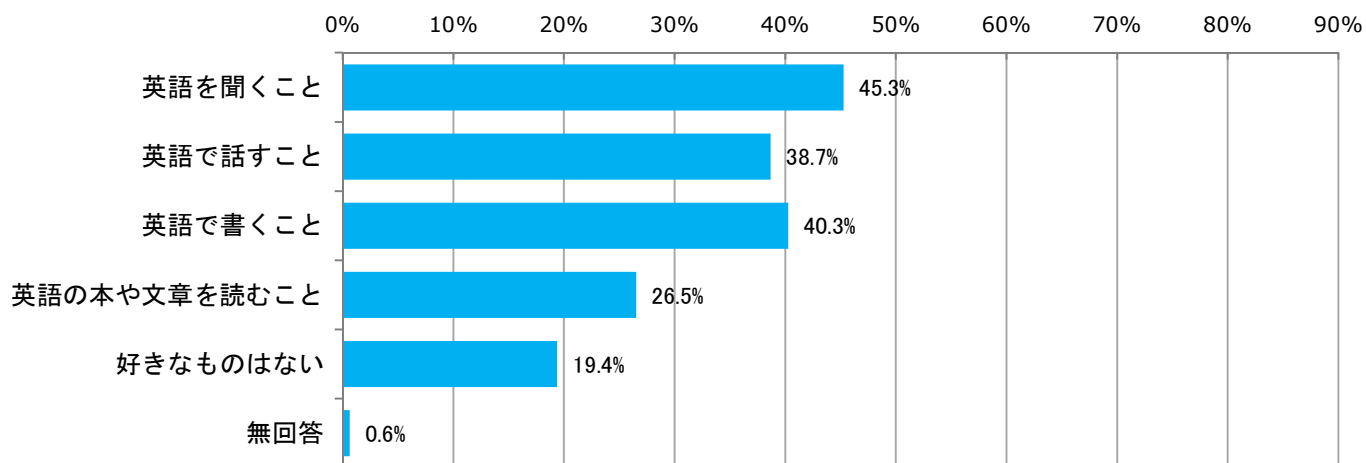
〔2～4年〕



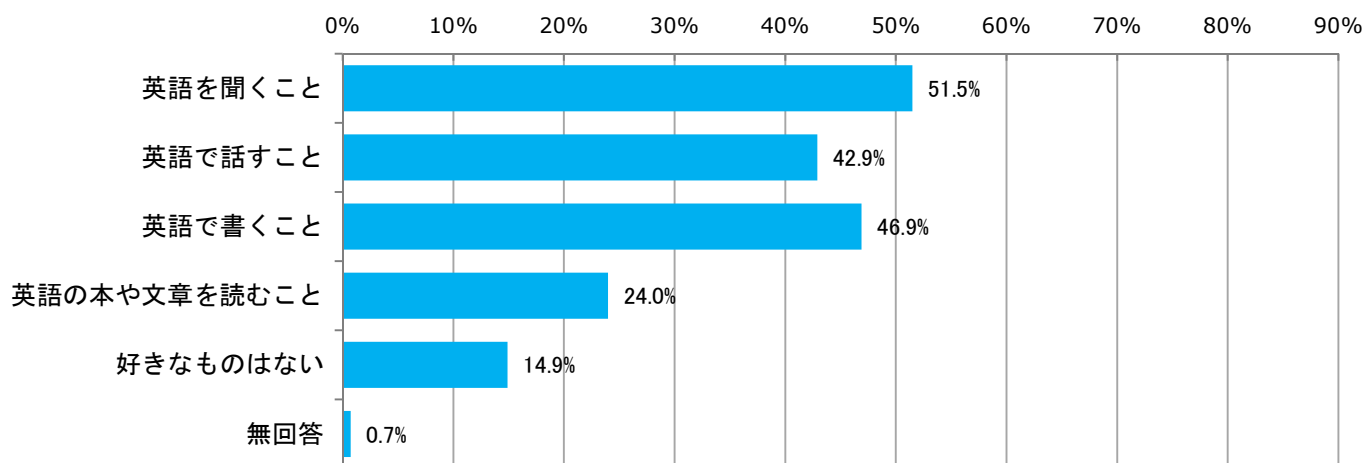
英語の授業で楽しいと思うことは、「英語のゲームをすること」が82.2%と最も高く、次いで「英語の歌を歌うこと」が51.7%である。
5.0%が「楽しいと思うものはない」と回答した。

〔15〕 英語の授業で好きなものはなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。
(5～9年生のみ)

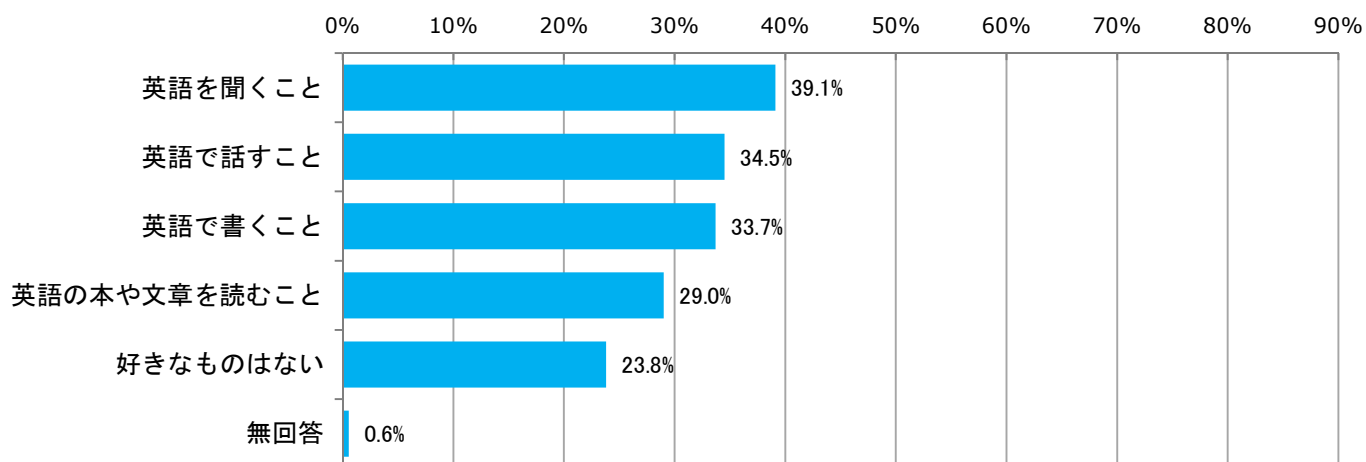
〔全体〕



〔5・6年〕



〔7～9年〕

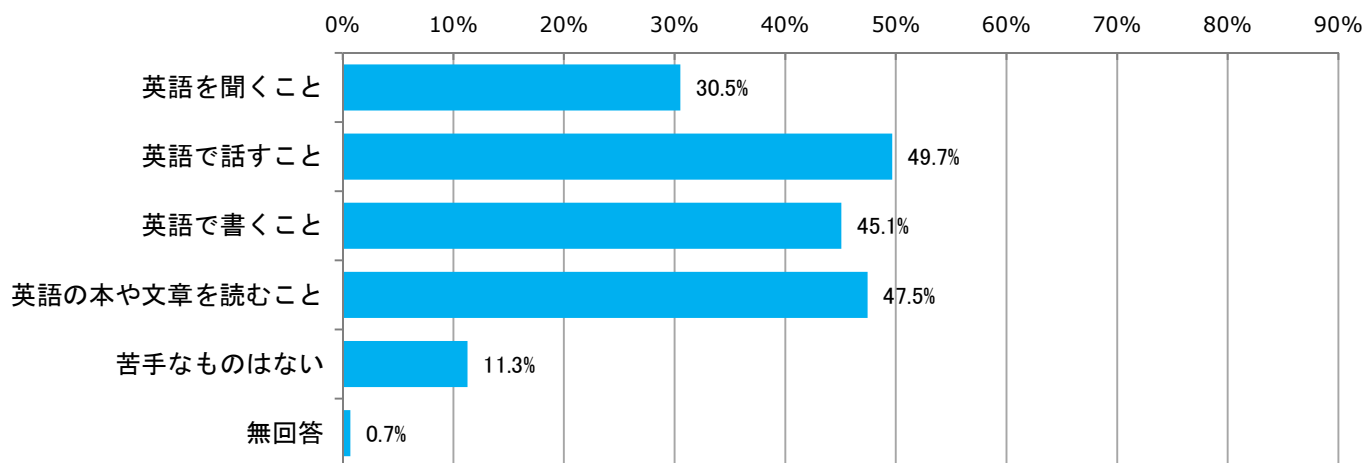


英語の授業で好きなものは、「英語を聞くこと」が全体で45.3%と最も高く、次いで、「英語を書くこと」が40.3%である。

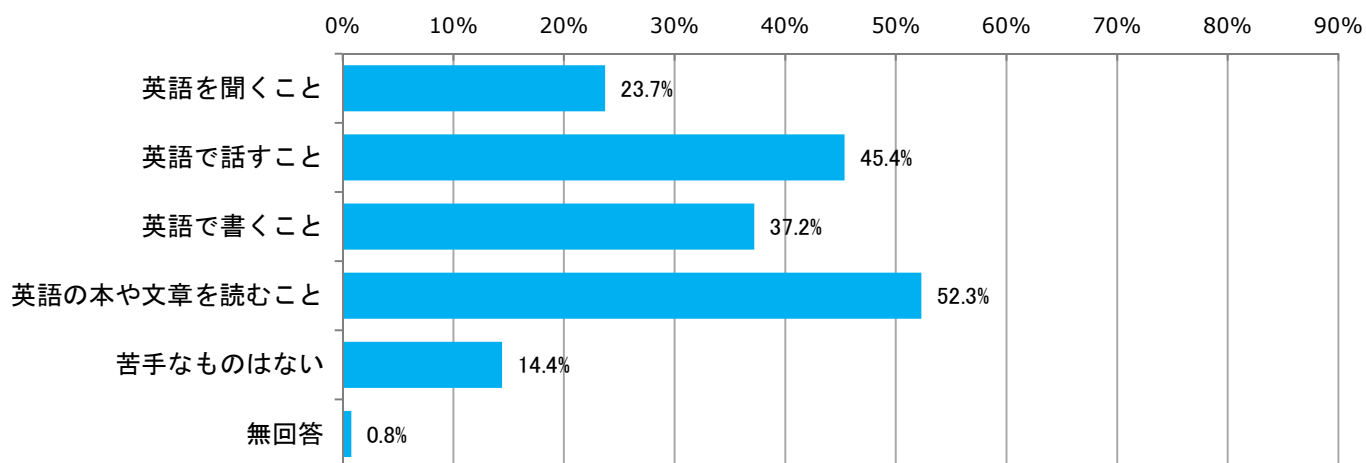
「好きなものはない」は、5・6年が19.4%、7～9年が23.8%である。

〔16〕 英語の授業で苦手なものはなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。
(5～9年生のみ)

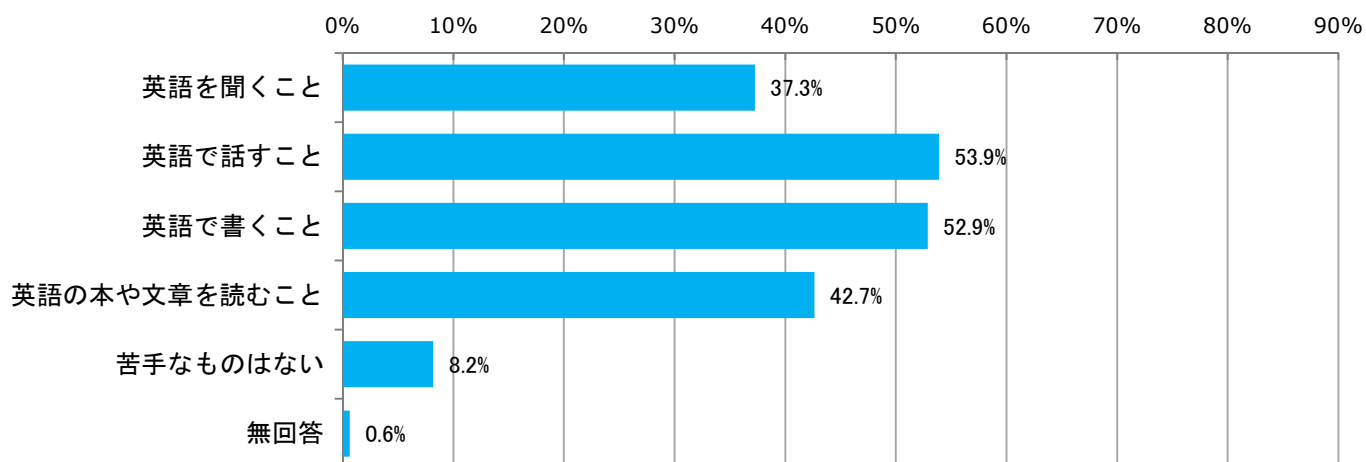
〔全体〕



〔5・6年〕



〔7～9年〕

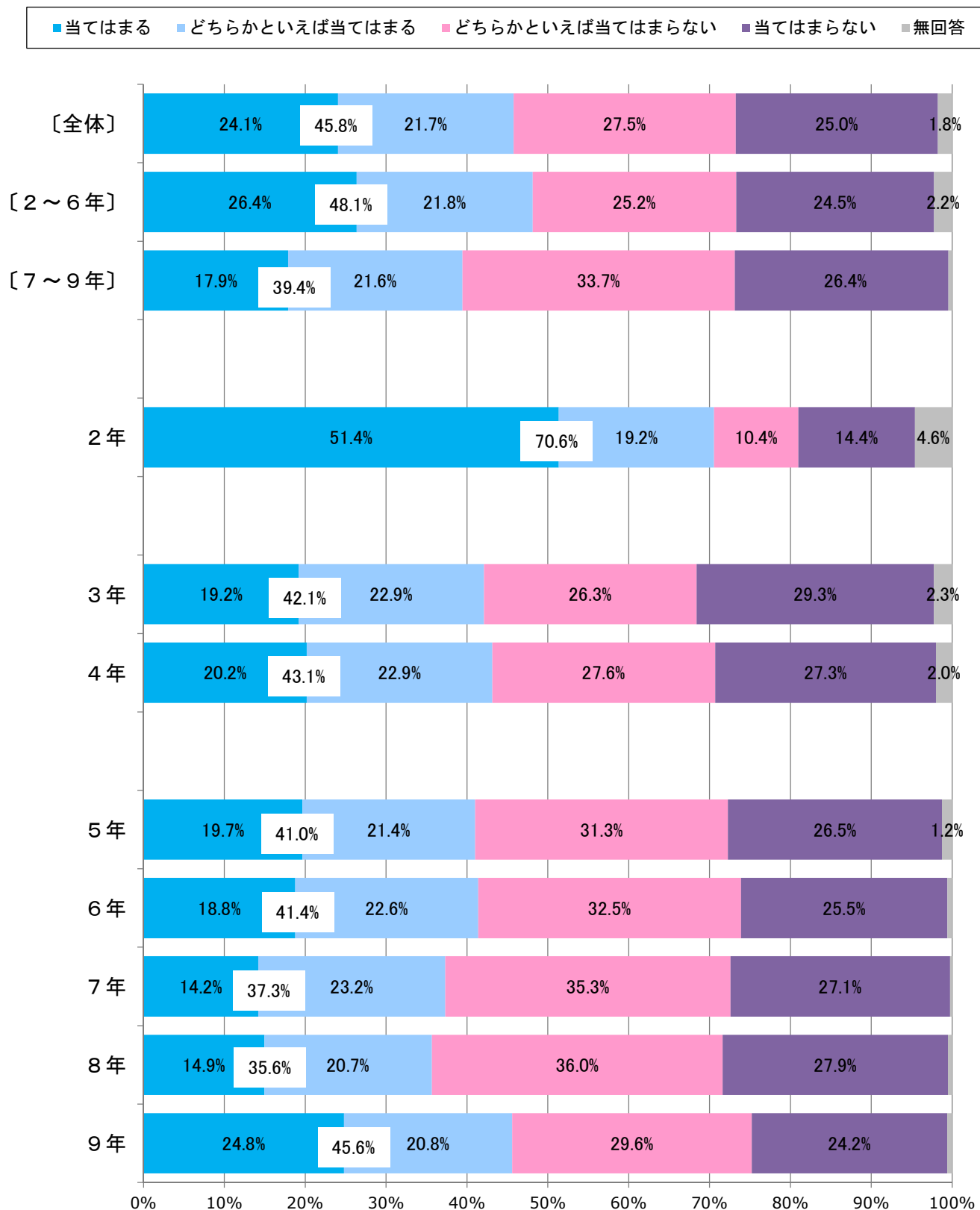


英語の授業で苦手なものは、「英語で話すこと」が全体で48.9%と最も高い最も高く、次いで、「英語の本や文章を読むこと」が47.5%である。5・6年は「英語の本や文章を読むこと」が52.3%で、7～9年では「英語で話すこと」が53.9%で最も高い。
「苦手なものはない」は、5・6年で14.4%、7～9年で8.2%である。

[17] (2年) 将来、外国へ行ってみたいと思う。

(3・4年) 将来、外国へ留学したり、英語を使う仕事に就きたいと思う。

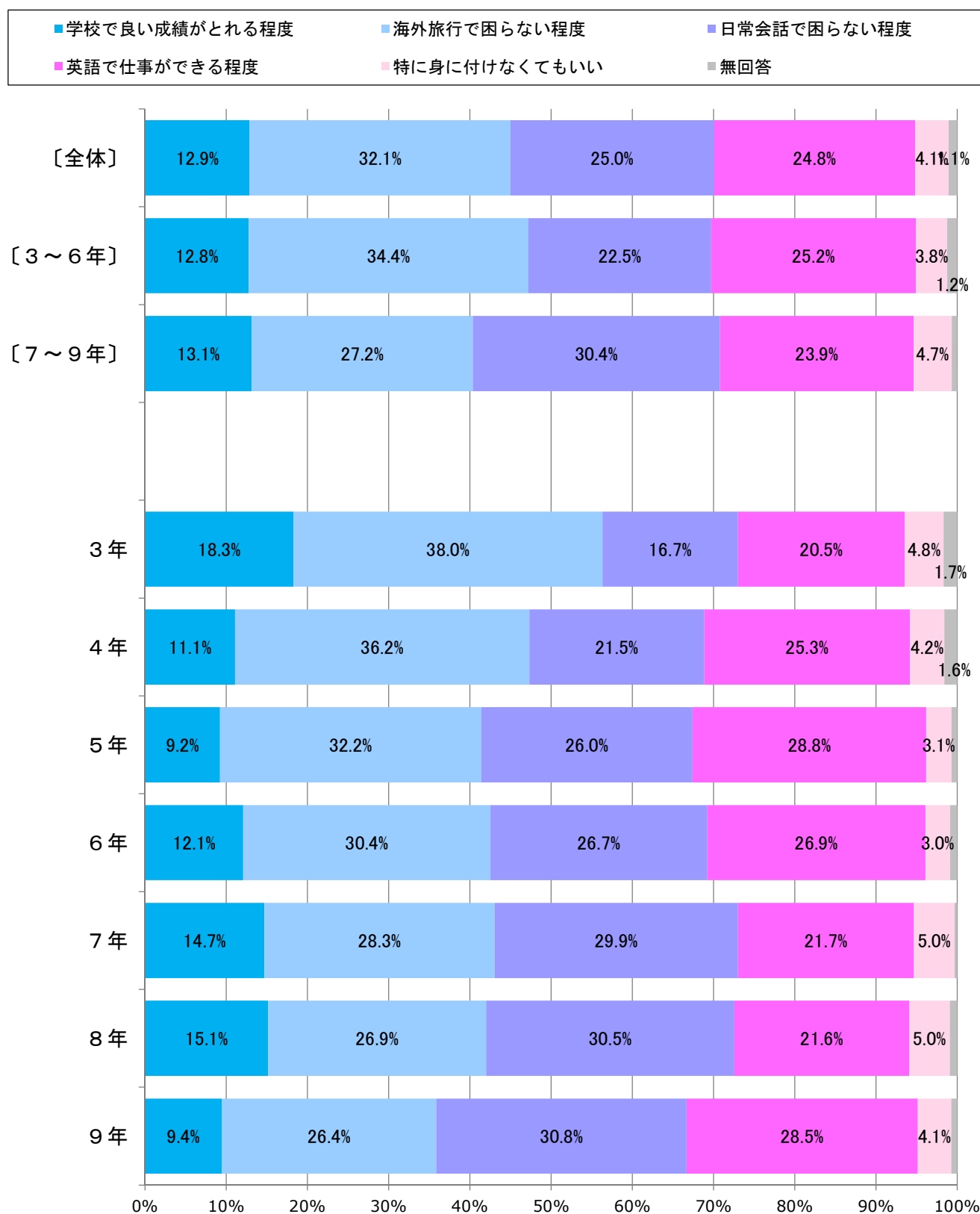
(5～9年) 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就きたいと思う。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で45%を超えている。2～6年で48.1%、7～9年で39.4%である。

「当てはまる」の割合は、7～8年の14%台に比べ、9年が24.8と上昇している。

[18] あなたは将来、どのくらいの英語力を身に付けたいですか。(3～9年生のみ)

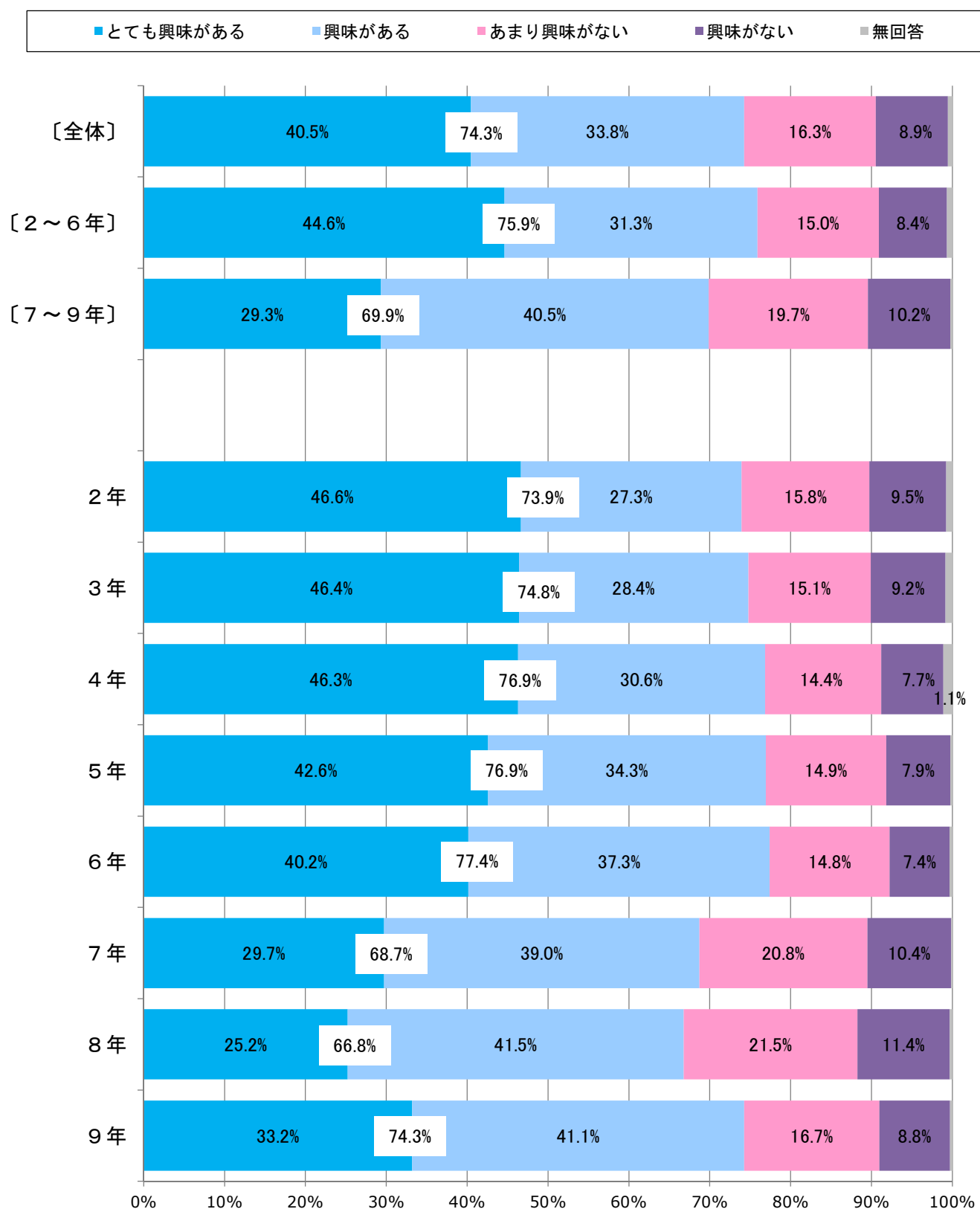


将来どのくらいの英語力を身に付けたいかについて、「海外旅行で困らない程度」が全体で32.1%と最も高い。

3～6年では「海外旅行で困らない程度」が34.4%で、7～9年では「日常会話で困らない程度」が30.4%で最も高い。9年生では「英語で仕事ができる程度」が3～6年と同じく2番目に高い。

[C. オリンピック・パラリンピックについて]

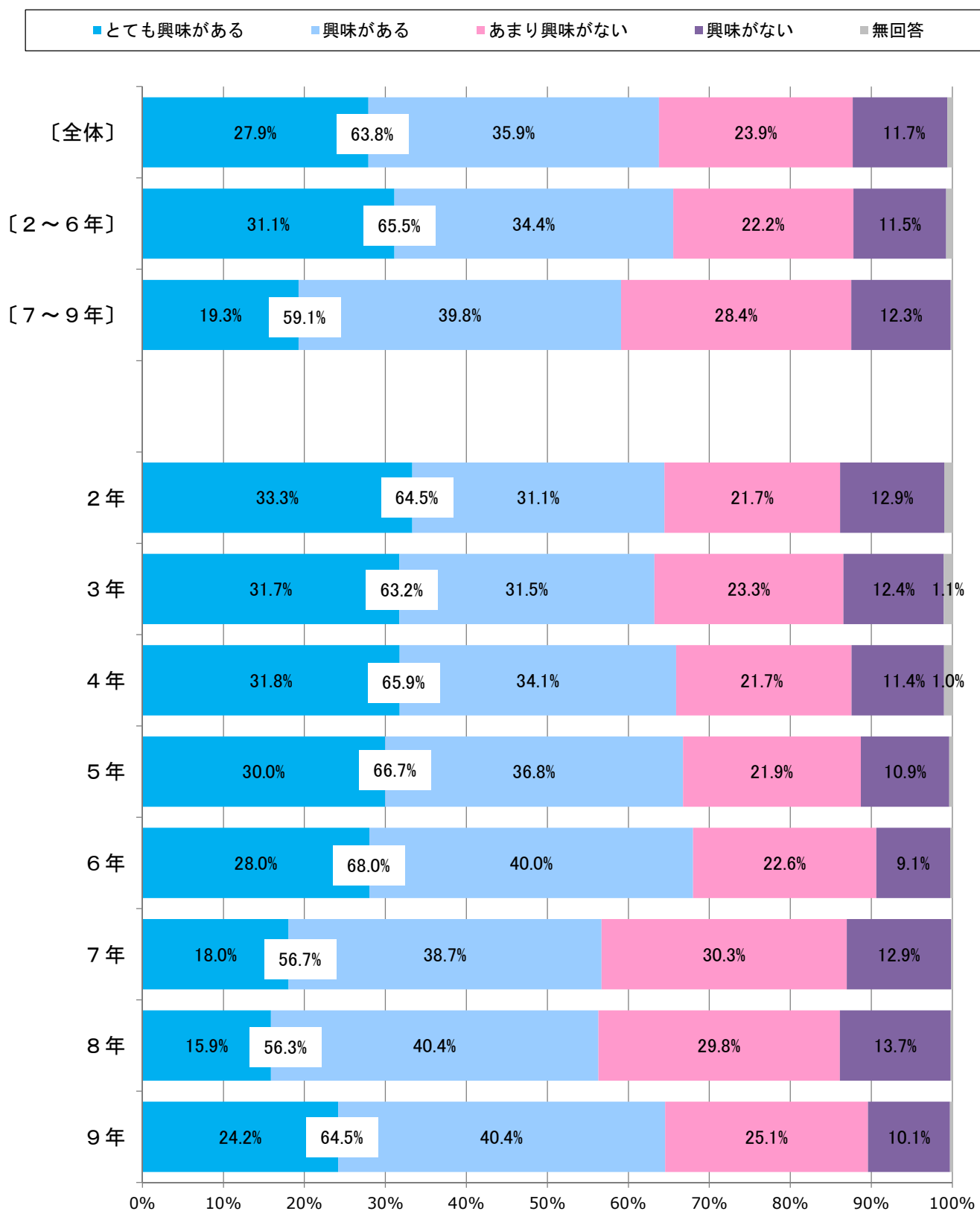
[19] オリンピックに興味がありますか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超えている。2～6年で75.9%、7～9年で69.9%である。

「とても興味がある」の割合は、2～6年の44.6%に比べ、7～9年が29.3%と低い。また、学年が上がるごとに低くなる傾向があり、7～8年では3割を切っているが、9年で33.2%と上昇している。

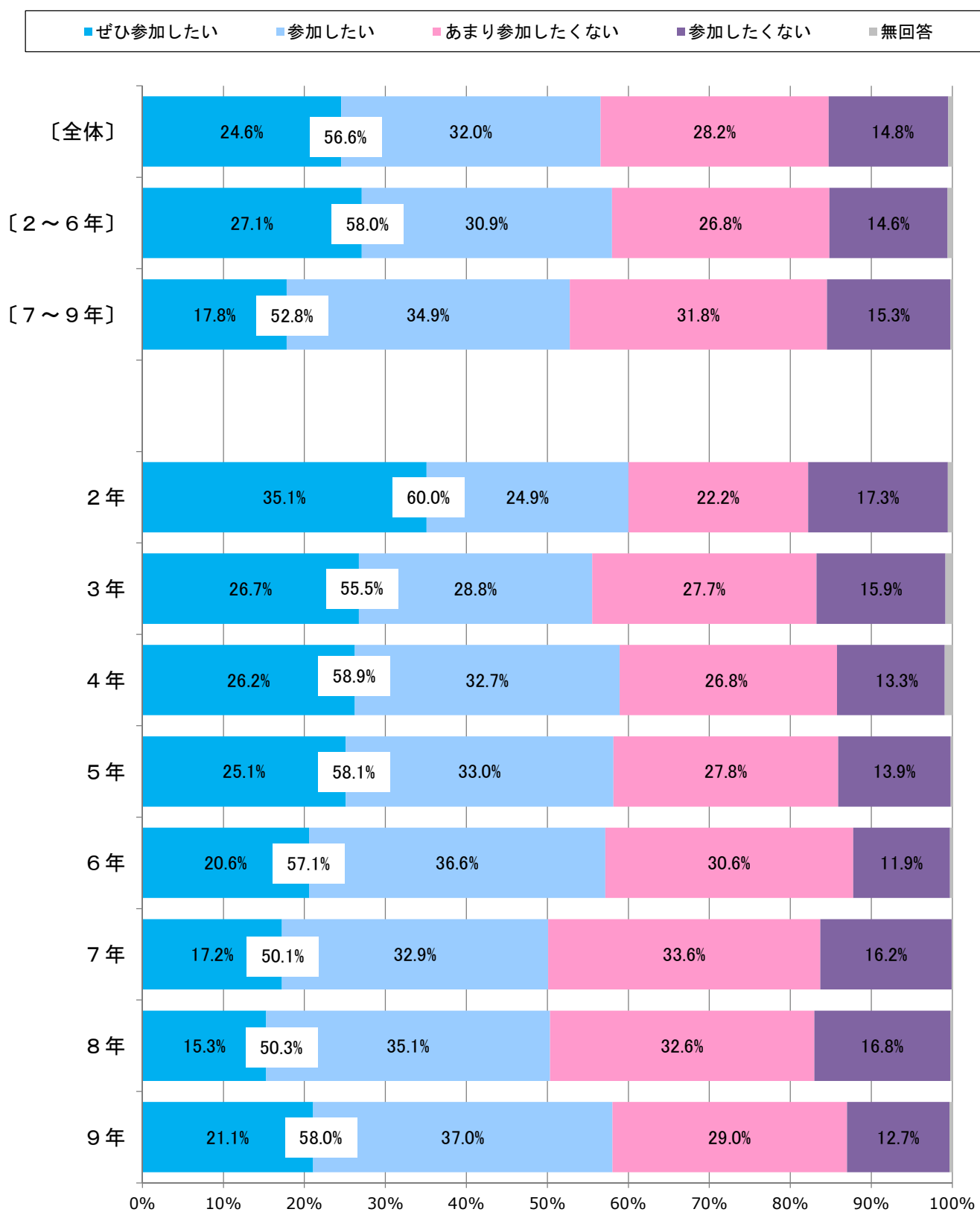
[20] パラリンピックに興味がありますか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で60%を超えている。2～6年で65.5%、7～9年で59.1%である。

「とても興味がある」の割合は、2～6年の31.1%に比べ、7～9年が19.3%と低い。また、7～8年2割を切って低くなっているが、9年が24.2%と上昇している。

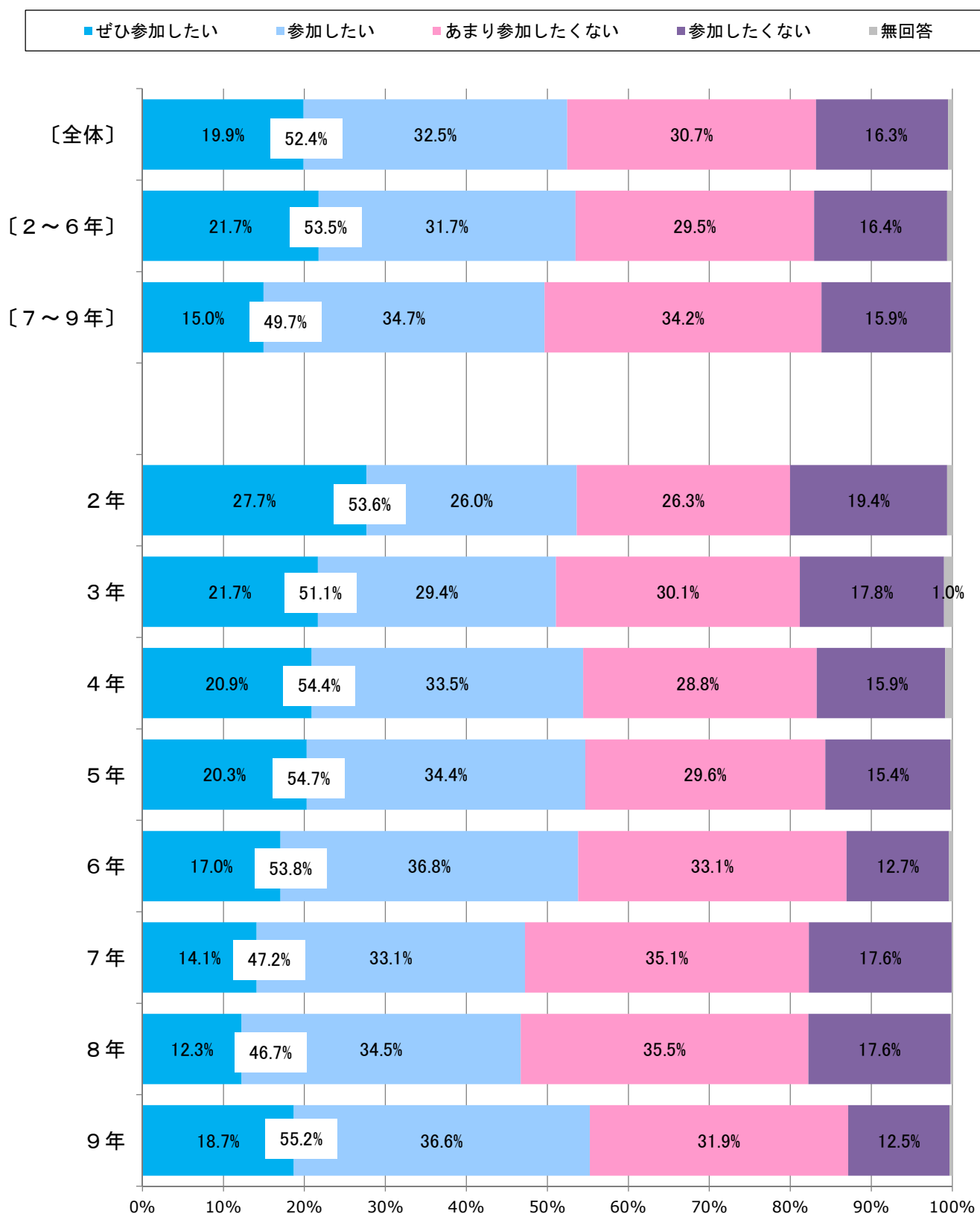
[21] 将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で55%を超えている。2～6年で58.0%、7～9年で52.8%である。

「ぜひ参加したい」の割合は、2～6年の27.1%に比べ、7～9年が17.8%と低い。また、学年が上がるごとに低くなる傾向があるが、9年で21.1%と上昇している。

[22] 将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。



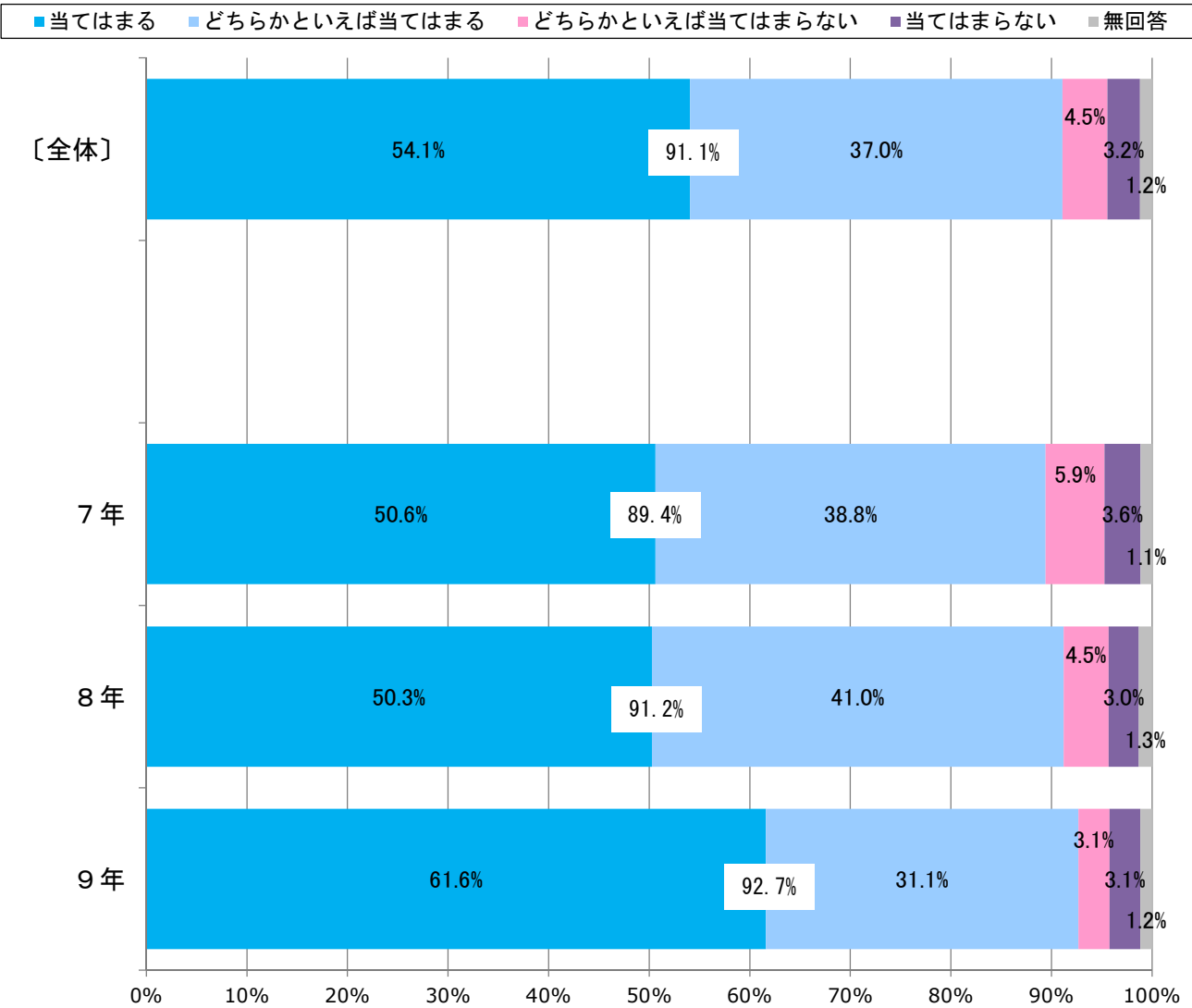
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で52.4%である。2～6年で53.5%、7～9年で49.7%である。

7～8年では、『否定的な回答』の割合が『肯定的な回答』を上回っている。

「ぜひ参加したい」の割合は、おおむね学年が上がるごとに低くなる傾向があるが、9年で18.7%と上昇

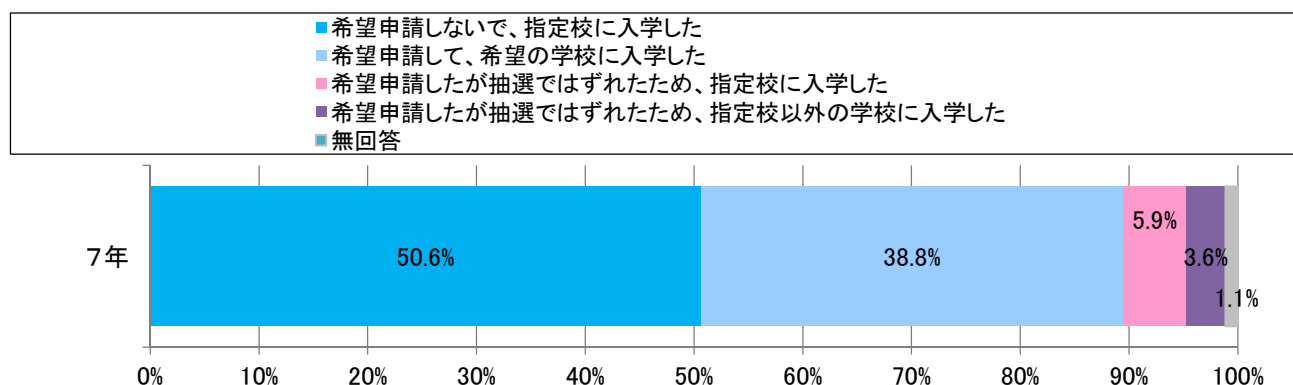
[D. 品川区の学校選択制について]

[23] (7～9年) 学校選択制は良い制度だと思う。



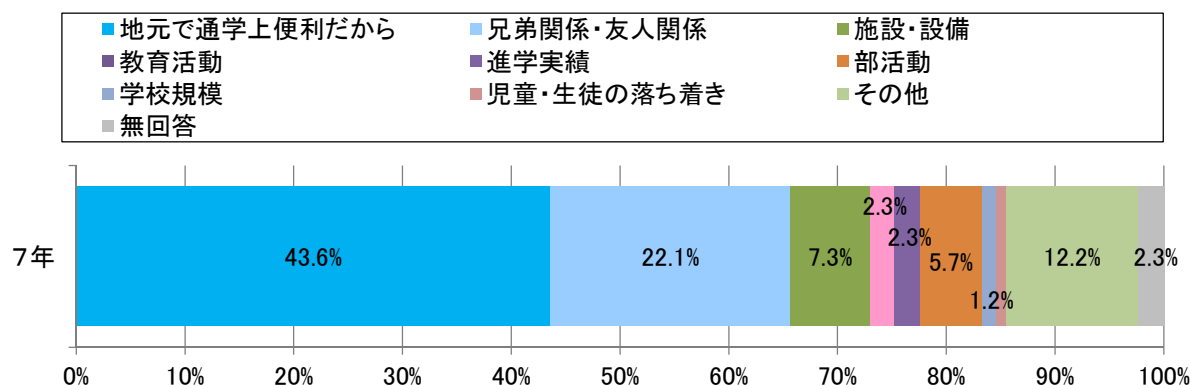
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で90%を超える。
「当てはまる」の割合は、おおむね学年が上がるごとに高くなる傾向があり、いずれの学年でも9割で前後占める。

[24] (7年) 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。



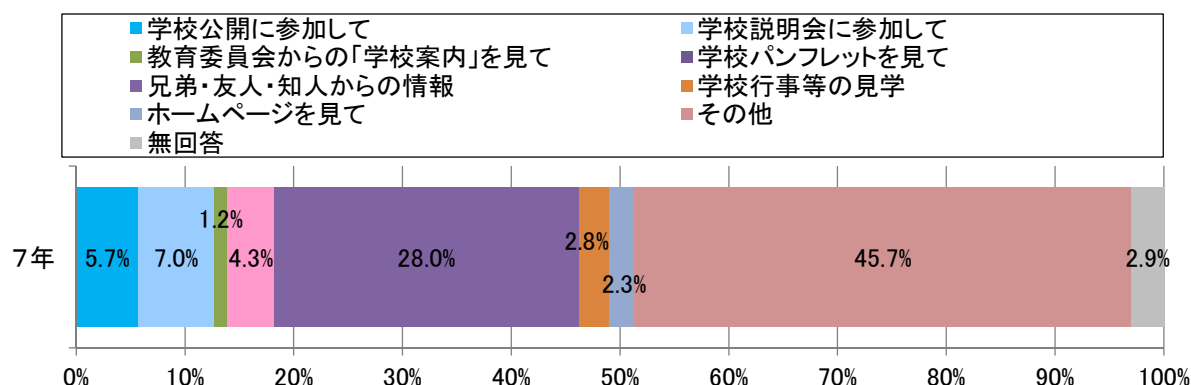
「希望申請しないで、指定校に入学した」が50.6%と最も高く、次いで「希望申請して、希望の学校に入学した」が38.8%となっている。

[25] (7年) 学校を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。



「地元で通学上便利だから」が43.6%と最も高く、次いで「兄弟関係・友人関係」が22.2%となっている。

[26] (7年) 学校を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。



「その他」が45.7%と最も高く、次いで「兄弟・友人・知人からの情報」が28.0%となっている。